

全体の活動状況

基幹センター・企画課

事業項目について

平成 24 年度、みやぎ心のケアセンター（以下『センター』という）では、東日本大震災により心理的影響を受けた県内在住者及び宮城県から県外へ避難している方を心のケアの対象者としてとらえ、県民の方々がコミュニティの中で、一日も早く安心して生活できるよう、地域の実状に合わせた以下 6 つの事業を行った。



1. 普及啓発

心の健康について理解を深められるよう、広報誌の発行やホームページを通じた情報発信・啓発パンフレットの作成、研修会や講演などの事業を行った。（４）の研修会・サロン活動は、合計 93 件で、参加者延数は 3,526 名であった。

(1) インターネットを活用した普及啓発

センターの情報を広く一般に周知し、活動内容などを公開するため、ホームページを開設し、運営した。平成 24 年度は計 9,843 件のアクセスがあった。

(2) 広報誌の発行

事業についての周知、ならびに県内各地の状況を広く伝えるため『みやぎ心のケアセンター通信』を 4 回（5、10、12、3 月）発行し、県内の関係機関など約 500 ヶ所に配布した。また、ホームページからも閲覧できるようにした。

(3) パンフレットの作成・配布

災害後に増加が懸念される課題を扱った啓発用パンフレットを作成し、配布した。アルコール関連問題については、対象や場面に応じて数種類のパンフレットを作成した。

< 県内全域 >

みやぎ心のケアセンターパンフレット（支援者向け）	6,000 部
みやぎ心のケアセンターパンフレット（一般向け）	9,000 部
「PTSDとは」	20,000 部
「うつ病の予防」	20,000 部
「不眠にご用心」	20,000 部
「飲酒とこころの健康」	20,000 部
「大切なあなたのために」	20,000 部
「あなたの健康飲酒ワークブック」	20,000 部
「飲酒により起こる症状や病気」	10,000 部

<気仙沼圏域>

「大切なあなたのために（気仙沼版）」	4,000部
「啓発用ボールペン」	500本

<石巻圏域>

「大切なあなたのために（石巻版）」	2,000部
「飲酒とこころの健康（石巻版）」	2,000部
「啓発用ボールペン」	500本
「ポケットティッシュ」	1,000部

(4) 普及啓発研修及びサロン活動

自治体や関係機関の要望に応じ、住民（一般住民・職域）を対象としたメンタルヘルス研修を行った。また、サロン活動の実施や、実施する支援団体、行政機関等に協力した。宮城県立精神医療センターへサロン活動の事業委託をした。

<研修テーマ及び件数>

震災後のメンタルヘルスについて	10件
精神疾患について	6件
傾聴について	1件
アルコール問題について	2件
震災が子どもにもたらす影響	4件
ストレスと心のケア・セルフケアについて	13件
心と体の健康について	8件
職場のメンタルヘルスについて	4件
被災地の状況とセンターの活動について	11件
サロン活動	34件

(5) メディアを活用した情報提供

ラジオや新聞等のメディアを通して、センターの活動、心の問題等についての情報を伝える活動を行った。

2. 支援者支援

疲弊している支援者に対して、ストレスケアや健康増進を目的とした事業を行った。

(1) 自治体への専門職員の配置

自治体からの要望に応じて専門職を出向職員として派遣した。出向職員は、市や町に常駐して担当者の業務負担の軽減に努めた。

<気仙沼市>

期 間	平成 24 年 6 月～平成 25 年 3 月
活動人数	1 名（PSW）
活動頻度	5 日／週
業務内容	住民調査への協力と調査後の継続対応。乳幼児健診への協力。来所や電話、訪問による個別支援

<石巻市>

期 間	平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月
活動人数	1 名 (OT)
活動頻度	4 日/週
業務内容	住民調査への協力、調査後の継続対応。来所や電話、訪問による個別支援

<東松島市>

期 間	平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月
活動人数	2 名 (PSW)
活動頻度	5 日/週
業務内容	住民調査への協力、調査後の継続対応。その他来所や電話、訪問による個別支援、地元支援者のスキルアップへの協力。

<女川町>

期 間	平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月
活動人数	1 名 (PSW)
活動頻度	5 日/週
業務内容	住民調査への協力、調査後の継続対応。来所や電話、訪問による個別支援

<塩竈市>

期 間	平成 24 年 5 月～平成 24 年 8 月
活動人数	1 名 (PSW)
活動頻度	5 日/週
業務内容	住民調査への協力、調査後の継続対応。来所や電話、訪問による個別支援

<名取市>

期 間	平成 25 年 1 月～平成 25 年 3 月
活動人数	1 名 (PSW)
活動頻度	5 日/週
業務内容	住民調査への協力、調査後の継続対応。来所や電話、訪問による個別支援

<石巻保健所>

期 間	平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月
活動人数	1 名 (Ns)
活動頻度	5 日/週
業務内容	職員へのスーパーバイズ、アルコール専門相談、精神関係相談、家庭訪問、受診支援等

その他、日本精神保健福祉士協会や横浜市精神障害者地域生活支援連合会の支援により、要請があった県内各地で活動を行った。

<協力団体>

団体名	日本精神保健福祉士協会
期間	平成24年4月～平成24年12月
のべ人数	150名（PSW）
活動場所	東松島市、女川町、名取市、岩沼市、塩竈市等
業務内容	住民調査への協力、調査後の継続対応等。

団体名	横浜市精神障害者地域生活支援連合会
期間	平成24年7月～平成24年10月
のべ人数	29名（PSW）
活動場所	東松島市、女川町、名取市、岩沼市、塩竈市等
業務内容	住民調査への協力、調査後の継続対応等。

(2) 専門的な知識を用いた支援者へのスーパーバイズ、助言等

専門職を派遣し、震災後から継続的に活動し疲労が蓄積した支援者への支援を行った。また、ケース会議やカンファレンスに参加し、専門的な立場からの助言などを行った。さらに、アルコール関連問題に対応するため、より専門的な機関へ事業を委託した。

気仙沼市：健康調査後のハイリスク者への対応等について助言した。

南三陸町：自治体職員に対し保健活動や健康調査後のフォローに関して助言した。また、東北会病院による仮設支援員に対する講話、グループワーク等の事業委託をした。

石巻市：ケース会議、健康調査後のハイリスク者への対応等について助言した。また、アルコール関連問題対応のためASW協会にケース対応、研修講師、助言等を事業委託した。

女川町：精神保健福祉相談や健診業務等、町の事業を支援した。

塩竈市：健康調査の方法、訪問実施後の助言。健診業務等、市の事業を支援した。

多賀城市：カンファレンスに参加し、随時専門的立場から助言した。健康課職員および社会福祉課職員の訪問に同行、専門的立場から助言した。

松島町：依頼のあったケースへの同行訪問、ケース会議等で助言した。

名取市：訪問を実施したケースについて、市保健師に対し専門的立場から助言した。

岩沼市：スタッフ2名が週4日程度支援し、データ整理、市職員の同行訪問、ケースへ専門的立場から助言した。また、子ども福祉課からの要請により、児童関連問題の対応を行うため臨床心理士を月1回派遣し、保健師へ専門的立場から助言した。

亘理町：週2日スタッフを派遣、健康調査後の住民訪問を実施した。

- 山元町： 町外在住の民賃仮設入居者訪問を実施。対応について専門的立場から助言した。
- 白石市： 月に1回、精神科医が訪問し、対応困難事例へのスーパーバイズを行った。
- 登米市： 自治体職員に対するスーパーバイズを行った。
- 大崎市： アルコール、PTSD等のケース対応について、カンファレンスに参加し、専門的立場から助言した。

(3) 健診時等の相談ブースの開設・アンケート等の実施

自治体からの要請により、各種健診時に住民に対するアンケート調査を実施した。併せて心の相談ブースを開設した。

- 気仙沼市： 乳幼児健診に協力した。
- 石巻市： 河北地区・牡鹿地区乳幼児健診に協力した。
- 東松島市： 一般住民健診に協力し、精神保健福祉相談に同席した。特定検診(生活習慣病検診)で配布するアンケートの作成に協力した。
- 松島町： 一般健診時に『心のコーナー』を設け、各種調査のハイリスク者及び希望者に個別相談を実施した。
- 岩沼市： 一般健診時にアンケートを実施し、相談窓口を開設した。
- 大和町： 一般健診時に『メンタルヘルスブース』を設け、該当者には個別面談を実施した。

(4) 仮設住宅の訪問支援員等への支援

仮設住宅の訪問支援員に対し、精神的負担の軽減、対人援助のスキルアップを目的に同行訪問や助言を実施した。

- 気仙沼市： 仮設サポートセンターの支援者ミーティングや健康相談(健康相談・元気教室)に参加し、助言や個別対応を実施した。
- 南三陸町： 地区サテライトミーティングへ参加し、助言や個別対応を実施した。
- 石巻市： エリアミーティングへの出席。市社会福祉協議会から依頼を受け仮設支援員に対し個別面接を実施した。
- 東松島市： 市保健師のサポートセンター巡回に同行し、サポートセンターから申し込みのあったケースに対応した。
- 女川町： 女川町社会福祉協議会から依頼を受け、仮設支援員に対して個別面接を実施した。仮設支援員に対し専門的立場から助言した。
- 多賀城市： サポートセンタースタッフ、民間支援団体、ケアマネージャー等との同行訪問、仮設支援員の依頼により週1～3回応急仮設住宅を訪問し、専門的立場から助言した。また、サポートセンター職員の訪問に同行するとともに、週1回のミーティング時、ケースについて専門的立場から助言した。
- 名取市： 仮設支援員の依頼により週1～3回仮設住宅を訪問し、専門的立場から助言した。また、サポートセンター職員の訪問に同行するとともに、週1回のミーティング時、ケースについて専門的立場から助

言した。

岩 沼 市 : 自治体職員等に対し、支援について専門的立場から助言した。

亘 理 町 : 支援者ミーティングへの参加や、仮設支援員と同行訪問し、専門的立場から助言した。

(5) 自治体職員等の支援者のメンタルヘルスに関する支援

支援者を対象に、セルフケアの必要性についての啓発、心の相談窓口の開設、関係調整、情報提供等を実施した。また、職場環境や人間関係の問題等について調整や助言を行った。

社会福祉協議会 : 【石巻市】【気仙沼市】【七ヶ浜町】【女川町】【南三陸町】【仙台市】社会福祉協議会より職員に対する健康調査への要望があり、実施。調査後に要望のあった職員に対しては、東北大学大学院予防精神医学寄附講座（以下『寄附講座』という）と連携して相談面接を実施。及び啓発パンフレットを配布した。（平成 24 年 10 月～3 月にかけて調査実施。結果のフィードバックについて対応中。）

気 仙 沼 市 : 健康調査後のフォロー面接の実施や、市職員向けストレス対策のパンフレットを作成し、全職員・派遣職員に配布した。

南 三 陸 町 : 健康調査後のフォロー面接の実施。また、職員対象の相談窓口を設置（月 1 回）し、市職員向けストレス対策のパンフレットを作成して、全職員・派遣職員に配布した。

石 巻 市 : 石巻市職員等への個別面談の実施。石巻広域行政組合（消防等）にて講話と個別面談を行った。（寄附講座対応）

東 松 島 市 : 特別養護老人ホーム職員との個別相談を実施した。

女 川 町 : 女川町職員等に対して専用相談窓口を開設し、個別面談を実施した。役場職員へのセルフケア啓発目的で広報誌を発行した。（1 回／2 週）

多 賀 城 市 : 仮設支援員への個別面談及びグループ面談での支援を実施した。

名 取 市 : 復興支援センタースタッフとの個別面談を実施した。

岩 沼 市 : 復興支援センタースタッフ、サポートセンタースタッフとの個別面談を実施した。

亘 理 町 : 行政職員、社会福祉協議会職員への個別面談を実施した。

3. 人材育成

メンタルヘルスに関わる専門職や支援者を対象に、様々な課題についての知識の普及と人材育成のための事業を行った。人材育成・研修事業については別添資料を参照されたい。

(1) 震災交流会の開催

行政職員や支援員など関係者の交流と情報共有などを目的に、『震災心のケア交流会』を開催した。各地で活動を行ってきた複数の民間支援団体に活動報告を依頼し、

仙台市と石巻市で開催した。

【別添参照】(3) 人材育成 ①震災交流会の開催

(2) 震災関連テーマ別研修

震災に関連した課題に対応するための知識、技術の習得とネットワークの構築を目指し、各種研修を実施した。

【別添参照】(3) 人材育成 ②震災関連テーマ別研修

<研修テーマ及び件数>

震災後のメンタルヘルスについて	21 件
支援スキルについて	56 件
精神疾患・障害について	2 件
高齢者のメンタルヘルス研修	3 件
自殺対策関係研修	11 件
遺族の方への対応について	1 件
アルコール関連問題の研修会	28 件
子どものメンタルヘルス研修	25 件
ストレスと心のケア・セルフケアについて	5 件
心と体の健康について	2 件
職場のメンタルヘルスについて	19 件
被災地の状況とセンターの活動について	21 件
メディアカンファレンス	1 件
事例検討	37 件

(3) 支援者のメンタルヘルス研修

様々な負担を抱える支援者に対し、職場のメンタルヘルスやセルフケアの必要性をテーマとした講演を実施した。【別添参照】(3) 人材育成 ③支援者のメンタルヘルス研修

(4) 職員定例研修

職員のスキルアップ及び地域センター同士の情報交換の機会として、毎月第4金曜日に全職員対象で開催した。年度後半からは被災3県心のケアセンターと相互に参加できる体制とし、震災に関わるテーマや、他県の心のケアセンター職員の講話、ケース検討会など幅広いテーマで実施した。【別添参照】(3) 人材育成 ④職員定例研修

4. 地域住民支援

被災者に対し精神疾患の予防、心の健康増進を目的とした事業を行った。

(1) 地域住民支援（住民、自治体、他機関からの依頼による相談支援の実施）

自治体、被災地支援を行っている様々な団体や地域住民からの依頼に基づき、訪問、来所、電話などの方法で相談支援を行った。

【別添参照】(4) 地域住民支援活動状況

<実施件数>

訪問	3,260 件
来所（相談窓口等での対応も含む）	1,232 件
電話	1,945 件

(2) 社会交流促進事業の実施

仮設住民等に対して、繋がりを再構築するきっかけとなるよう様々なイベントを企画し、引きこもり等の予防に繋げた。

<実施概要>

石 巻 圏 域	被災者交流事業『ここファーム』（農作業を通じた交流促進）
	『作品展』（民賃仮設住宅入居者が製作した作品の展示、交流会）

(3) 被災地の親子を対象としたキャンプの実施

精神疾患の予防、心の健康増進を目的に、小学生やその保護者を対象としたデイキャンプを実施した。参加者は児童 25 名、保護者 4 名で、小学生にはレクリエーションや心理教育、保護者には講話やリラクゼーション、個別相談などを実施した。

5. 各種活動支援

自治体や保健所、各種支援団体、当事者団体等県内で活動している団体と連携し、その活動を支援することを目的とした事業を行った。

(1) 民間活動団体の連携を支援

民間活動団体同士の情報交換会の開催やその運営に協力した。

県 内 全 域： 『震災心のケア交流会みやぎ』を仙台市で開催した（再掲）。

石 巻 圏 域： 『震災心のケア交流会みやぎ in 石巻』を石巻市で開催した（再掲）。

南 三 陸 町： 被災者のサロン活動等によって支援している団体と情報交換した。

仙 台 市： 民間活動団体との定期的な情報交換会を開催した。

(2) 各種研修・イベント等の共催・名義後援の協力

各団体で企画する研修やイベントに共催（6 件）・後援（7 件）し、事業の周知に協力した。【別添参照】（5）各種活動支援 ②各種研修・イベント等の共催・名義後援等の協力

6. 調査研究

被災地・被災者の状況を把握するための調査、研究事業を行った。

(1) 地域住民を対象とした健康調査

自治体からの依頼により、地域住民に対する健康調査を実施した（岩沼市）。その後のフォローとデータの解析は、寄附講座と各地域センターが連携して行った。

(2) 自治体職員等を対象とした健康調査

自治体等からの依頼により、自治体職員に対する健康調査を実施した。その後のフォローとデータの解析は、寄附講座と各地域センターが連携して行った。

<健康調査を実施した自治体等>

石 巻 市： 自治体職員、消防、水道企業団

気 仙 沼 市： 自治体職員

南三陸町：自治体職員

(3) 市町村社会福祉協議会を対象とした健康調査（再掲）

宮城県社会福祉協議会からの依頼により、6市町社会福祉協議会（気仙沼市、南三陸町、石巻市、女川町、七ヶ浜町、仙台市）の職員に対する健康調査を実施した。その後のフォローとデータの解析は、寄附講座と各地域センターが連携して行った。

(4) 情報システムの開発

業務報告を集約し、全体の実績を明確にするとともに、震災後の地域のニーズと必要な支援を明らかにするため、平成24年4月より情報システムの開発に着手した。

(5) 調査・研究への協力

他の研究機関等で行う調査・研究へ協力した。

- ・東北大学公衆衛生学講座、東北大学大学院医学系研究科地域保健支援センターの震災に関わる調査研究に協力した。
- ・国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所成人精神保健研究部：Delphi法を用いた東日本大震災の経験とそれに基づく意見の集約を行った。

(6) 紀要の発行

センターにおける活動の報告書として紀要第1号を発行した。

1. 普及啓発 (4) 普及啓発研修およびサロン活動

	実施日	研修名	内容	市町村	対象	人数
1	4月21日	平成24年度 キワニス・ワン・デー講演会	震災後の子どものこころの反応	仙台市	一般市民 ボランティア	50名
2	4月27日	本吉町小泉地区の断酒を目指す交流会(第1回)	ストレスとお酒について	気仙沼市	小泉中学校仮設住民	13名
3	5月10日	ほっとサロン(県立精神医療センターと協同実施)	医師の健康講話、リラクゼーション体操、物づくり等	名取市	仮設住宅入居者	10名
4	5月16日	気仙沼市職員退職者総会	震災後のメンタルヘルス	気仙沼市	気仙沼市職員退職者	41名
5	5月18日	ほっとサロン(県立精神医療センターと協同実施)	医師の健康講話、リラクゼーション体操、物づくり等	山元町	仮設住宅入居者	4名
6	5月24日	ほっとサロン(県立精神医療センターと協同実施)	医師の健康講話、リラクゼーション体操、物づくり等	名取市	仮設住宅入居者	18名
7	6月1日	赤岩児童館・子育てネットあかかわ研修会	幼児期・児童期の親子の関わり方	気仙沼市赤岩	保護者、保育士	28名
8	6月8日	東北文化学園大学医療福祉学部保健福祉学科臨時講義	精神障害者の支援について	仙台市	精神保健福祉専攻学生	10名
9	6月13日	宮城障害者職業センター 当事者研修会	発達障害の特性理解について	仙台市	発達障害当事者、職業カウンセラー	11名
10	6月14日	ほっとサロン(県立精神医療センターと協同実施)	医師の健康講話、リラクゼーション体操、物づくり等	名取市	仮設住宅入居者	11名
11	6月15日	日本精神保健福祉事業連合全国大会in横浜	東日本大震災 被災地の現在(いま)	横浜市中区	精神保健福祉関係者・家族・当事者	100名
12	6月22日	ほっとサロン(県立精神医療センターと協同実施)	ほっとサロン(県立精神医療センターと協同実施)	山元町	仮設住宅入居者	4名
13	6月23日	出前講座「こころの健康セミナー」	震災後の心の健康とこれからの対策	気仙沼市	仮設住宅入居者	15名
14	6月26日	出前講座「こころの健康セミナー」	震災後の心の健康とこれからの対策	気仙沼市	仮設住宅入居者	11名
15	6月28日	ほっとサロン(県立精神医療センターと協同実施)	医師の健康講話、リラクゼーション体操、物づくり等	名取市	仮設住宅入居者	12名
16	7月6日	出前講座「こころの健康セミナー」	「ストレスと心のケア」	気仙沼市	住民	26名
17	7月9日	平成24年度松島町立松島中学校健康講話	ネット・ゲーム依存とこころ・からだの健康について	松島町	松島中学校生徒	369名
18	7月10日	出前講座「こころの健康セミナー」	「ストレスと心のケア」	気仙沼市	住民	20名
19	7月12日	ほっとサロン(県立精神医療センターと協同実施)	医師の健康講話、リラクゼーション体操、物づくり等	名取市	仮設住宅入居者	19名
20	7月13日	唐桑幼稚園講演会	東日本大震災後の子どもの心のケア	気仙沼市	PTA・職員	16名
21	7月19日	出前講座「こころの健康セミナー」	「ストレスと心のケア」	気仙沼市	仮設住宅入居者	18名
22	7月20日	ほっとサロン(県立精神医療センターと協同実施)	医師の健康講話、リラクゼーション体操、物づくり等	山元町	仮設住宅入居者	20名
23	7月25日	石巻市市民講座	こころのケア講座「筋膜マッサージセルフメンテナンス講座	石巻市	仮設住民・仮設支援員	100名
24	7月26日	第3回 ヘルシーとめ講座	こころの健康づくり～活力ある暮らしを送るために～	登米市	食生活改善推進員、地域住民	33名
25	7月26日	ほっとサロン(県立精神医療センターと協同実施)	医師の健康講話、リラクゼーション体操、物づくり等	名取市	仮設住宅入居者	26名
26	8月9日	ほっとサロン(県立精神医療センターと協同実施)	医師の健康講話、リラクゼーション体操、物づくり等	名取市	仮設住宅入居者	15名
27	8月10日	KRA茶話会(サロン)	ミニ講話、健康相談	気仙沼市	仮設住民	3名
28	8月17日	ほっとサロン(県立精神医療センターと協同実施)	医師の健康講話、リラクゼーション体操、物づくり等	山元町	仮設住宅入居者	20名
29	8月21日	こころの健康づくり講演会(本吉公民館)	認知症とうつの予防	気仙沼市	住民	15名
30	8月23日	ほっとサロン(県立精神医療センターと協同実施)	医師の健康講話、リラクゼーション体操、物づくり等	名取市	仮設住宅入居者	9名
31	8月25日	リカバリー全国フォーラム2012	分科会「東日本大震災 ～これまでとこれから～」	東京都豊島区	精神保健福祉関係者・家族・当事者	100名
32	8月27日	出前講座「こころの健康セミナー」	震災後の心の健康とこれからの対策	気仙沼市	住民・医師・自治体職員	62名
33	8月29日	H24年度 石巻市遊びリレーション事業	座位でできる腰痛体操の指導	石巻市	仮設住人	13名
34	8月30日	KRA茶話会(サロン)	唾液腺マッサージ、口腔体操、転倒予防体操	気仙沼市	仮設住民	9名
35	9月11日	こころの健康づくり講演会(小泉小学校)	認知症とうつの予防	気仙沼市	住民	15名
36	9月13日	ほっとサロン(県立精神医療センターと協同実施)	医師の健康講話、リラクゼーション体操、物づくり等	名取市	仮設住宅入居者	19名
37	9月14日	KRA茶話会(サロン)	体調チェック、茶話会、「糖分と塩分の摂取についての講話」	気仙沼市	仮設住民等	15名
38	9月21日	ほっとサロン(県立精神医療センターと協同実施)	医師の健康講話、リラクゼーション体操、物づくり等	山元町	仮設住宅入居者	22名
39	9月24日	元気教室	仮設住宅入居者に対する健康教育、心の相談、介護予防体操等	気仙沼市	仮設住宅入居者	21名
40	9月27日	ほっとサロン(県立精神医療センターと協同実施)	医師の健康講話、リラクゼーション体操、物づくり等	名取市	仮設住宅入居者	16名
41	10月2日	こころの健康づくり講演会	認知症とうつの予防	気仙沼市	住民	15名
42	10月2日	泉区保健福祉センターこころの健康づくり講演会	被災地でのストレスと心の健康～心とからだの休め方～	仙台市泉区	市民	70名
43	10月5日	大和電設工業 社内研修会	職場のメンタルヘルスについて	仙台市	本社社員	90名
44	10月11日	ほっとサロン(県立精神医療センターと協同実施)	医師の健康講話、リラクゼーション体操、物づくり等	名取市	仮設住宅入居者	9名
45	10月19日	ほっとサロン(県立精神医療センターと協同実施)	医師の健康講話、リラクゼーション体操、物づくり等	山元町	仮設住宅入居者	17名
46	10月23日	元気教室	仮設住宅入居者に対する健康教育、心の相談、介護予防体操等	気仙沼市	仮設住宅入居者	35名
47	10月25日	ほっとサロン(県立精神医療センターと協同実施)	医師の健康講話、リラクゼーション体操、物づくり等	名取市	仮設住宅入居者	12名
48	11月2日	H24年度 石巻市遊びリレーション事業	転倒予防および認知症予防の体操指導	石巻市	仮設入居者	16名
49	11月4日	気仙沼市健康フェスティバルにおけるカフェ活動(ここカフェ)	マッサージ、交流会	気仙沼市	一般住民	245名
50	11月8日	ほっとサロン(県立精神医療センターと協同実施)	医師の健康講話、リラクゼーション体操、物づくり等	名取市	仮設住宅入居者	8名
51	11月8日	老人クラブ連合会女性部へのメンタルヘルス研修	震災後のメンタルヘルス「筋膜マッサージ」	亘理町	老人クラブ連合会女性部	63名
52	11月13日	松島町心のケア講演会	笑おう！ほぐそう！心と体～10歳若返る心と体のセルフケア	松島町	松島町民、民生委員、その他	70名
53	11月16日	平成24年度 こころの講演会	とまどう思春期～地域の輪の中で育てよう～	登米市	一般市民、民生・児童委員など	200名
54	11月16日	ほっとサロン(県立精神医療センターと協同実施)	医師の健康講話、リラクゼーション体操、物づくり等	山元町	仮設住宅入居者	4名
55	11月17日	健康と復興まちづくりを考えるシンポジウム	これからの心のケアのあり方を考える	大和町	一般市民	80名
56	11月20日	元気教室	仮設住宅入居者に対する健康教育、心の相談、介護予防体操等	気仙沼市	仮設住宅入居者	24名
57	11月20日	河北地域包括支援センター介護予防事業	震災後の心と体の健康について	石巻市	仮設住宅入居者	13名
58	11月20日	箱塚桜仮設「みまもり隊」への講話	「冬場の健康管理について」「飲酒について」	名取市	仮設住民	7名
59	11月20日	宮城・岩手・福島の県民、支援者向け講演	みやぎ心のケアセンターの活動紹介	仙台市	宮城・岩手・福島の県民、支援者	80名
60	11月22日	心の健康づくり講演会	震災後に気をつけたいこころの健康について	気仙沼市	住民	39名

61	11月22日	ほっとサロン(県立精神医療センターと協同実施)	医師の健康講話、リラクゼーション体操、物づくり等	名取市	仮設住宅入居者	17名
62	11月27日	こころの健康づくりサポーター 講座	聴き上手になろう～寄り添う心持で接する	塩竈市	一般住民	23名
63	12月14日	利府町地域講演会	ストレスってなんだらう?～ストレスに負けない元気な心をつくるために～	利府町	民生委員児童委員、一般市民等	30名
64	12月17日	JAみどりの メンタルヘルス研修会	ストレスマネジメント	大崎市	JAみどりの管理職者	70名
65	12月17日	日本カトリック医師会	こころの健康	気仙沼市	仮設住民	8名
66	12月21日	ほっとサロン(県立精神医療センターと協同実施)	医師の健康講話、リラクゼーション体操、物づくり等	山元町	仮設住宅入居者	15名
67	1月18日	ほっとサロン(県立精神医療センターと協同実施)	医師の健康講話、リラクゼーション体操、物づくり等	山元町	仮設住宅入居者	5名
68	1月21日	サロン「ここカフェ」	タッピングタッチを取り入れたサロン	気仙沼市	みなし仮設入居者	9名
69	1月21日	JAみどりの メンタルヘルス研修会	職域におけるメンタルヘルスについて	美里町	JAみどりの管理職者	70名
70	1月22日	JAみどりの メンタルヘルス研修会	職域におけるメンタルヘルスについて	美里町	JAみどりの管理職者	90名
71	1月23日	JAみどりの メンタルヘルス研修会	職域におけるメンタルヘルスについて	美里町	JAみどりの管理職者	90名
72	1月31日	サロン「ここカフェ」	タッピングタッチ・アロマ体験を取り入れたサロン	気仙沼市	みなし仮設入居者	7名
73	2月1日	南宇和市心の健康を考える会	震災と心のケア	南宇和市	一般住民	—
74	2月8日	第2回 HIT研修会	こころの健康を保つために	仙台市	新規企業家	50名
75	2月8日	KRA主催茶話会(サロン)	風邪・インフルエンザ予防のミニ講話、肩こり予防体操、転倒予防体操	気仙沼市	仮設住宅入居者	17名
76	2月13日	平成24年度 メンタルヘルス交流会 ここカフェ	こころと体の疲れをほぐしていきましょう	気仙沼市	民賃仮設入居者	13名
77	2月16日	福島をつどい&こらんしょお茶会	ヨガ、ハンドマッサージ、個別相談、茶話会	名取市	民賃仮設入居者(福島県)	25名
78	2月16日	東日本大震災文京区民シンポジウム	被災直後の保健活動について	東京都	文京区民	80名
79	2月22日	ほっとサロン(県立精神医療センターと協同実施)	医師の健康講話、リラクゼーション体操、物づくり等	山元町	仮設住宅入居者	10名
80	2月23日	宮城県サポートセンター支援事務所主催交流会	同郷サロン(利府町松島町民賃仮設入居者交流会)	利府町	民賃住民	27名
81	2月23日	認知症サポーター養成講座	認知症について	石巻市	仮設住民、地域住民	24名
82	2月25日	岡山パールライオンズクラブ例会	東日本大震災後の子どもたち	岡山県	岡山ライオンズクラブ会員	20名
83	2月26日	元気教室	こころの健康を保つために	気仙沼市	住民	28名
84	2月26日	サロン「ここカフェ」	心とからだの関係性について	気仙沼市	民賃仮設入居者	11名
85	2月27日	こころの健康づくり講演会	ストレスと上手につき合う方法	蔵王町	一般住民	100名
86	2月27日	こころの健康づくり学習会(自殺対策事業)	ストレスマネジメントについて	美里町	一般住民	22名
87	3月2日	福島をつどい&こらんしょお茶会	ヨガ、ハンドマッサージ、個別相談、茶話会	名取市	民賃仮設入居者	28名
88	3月3日	「災害とこころのケア」研修	被災者の心の回復を願って～復興期の支援のあり方～、宮城の活動紹介	新潟県長岡市	一般市民、福祉関係者	30名
89	3月7日	東松島市婦人部定期総会における学習会	震災後の心のケア	東松島市	一般市民	40名
90	3月9日	こころのケア支援フォーラム	被災地におけるこころのケアの現状と課題	東京都	一般市民ボランティア	70名
91	3月10日	「災害とこころのケア」研修	新潟中越地震での心のケア活動報告、宮城の活動紹介	新潟県長岡市	一般市民、福祉関係者	20名
92	3月17日	「災害とこころのケア」研修	小地谷地域の震災直後からの経過報告、宮城の活動紹介	新潟県長岡市	一般市民、福祉関係者	11名
93	3月24日	「災害とこころのケア」研修	災害で大切な人との別れを体験した人をどう支えるのか、宮城の活動紹介	新潟県長岡市	一般市民、福祉関係者	30名

1. 普及啓発 (5)メディア等を活用した情報発信

	実施日	研修名	内容	市町村	対象	人数
1	10月3日	コミュニティFM番組出演	FMラジオ出演「アルコールについて」	岩沼市	一般住民	—
2	12月11日	コミュニティFM番組出演	FMラジオ出演「メンタルヘルスのセルフケアについて」(今回は睡眠がテーマ)	女川町	一般住民	—
3	3月4日	三陸新報取材	みやぎ心のケアセンターの紹介	気仙沼市	一般住民	—
4	3月8日	女川町災害FMでの情報提供	メンタルヘルスケアについて	女川町	一般住民	—

3. 人材育成 (1)震災交流会の開催

	実施日	研修名	内容	市町村	対象	人数
1	11月10日	第3回 震災こころのケア交流会みやぎ	震災から1年8か月～被災地の現状と課題～	仙台市	精神保健福祉関係者	60名
2	3月1日	震災心のケア交流会みやぎin石巻	被災者支援の今とこれからを語ろう	石巻市	支援者全般	83名

3. 人材育成 (2)震災関連テーマ別研修<アルコール関連問題の研修会>

	実施日	研修名	内容	市町村	対象	人数
1	4月3日	新任生活支援員に対するアルコール研修	アルコールについて	南三陸町	仮設支援員	40名
2	4月4日	講話とグループワーク	アディクションについて	気仙沼市	仮設支援員	40名
3	4月18日	グループワーク研修	アルコールケースの検討	南三陸町	支援員、保健師	17名
4	5月2日	保健師対象グループワーク	グループワーク	南三陸町	保健師	5名
5	5月2日	グループワーク研修	グループワーク	気仙沼市	仮設支援員等	54名
6	5月16日	南方仮設支援員グループワーク研修	グループワーク	南三陸町	仮設支援員	10名
7	5月18日	気仙沼市アルコール研修会	アルコールと健康	気仙沼市	友愛訪問員等	13名
8	6月6日	気仙沼市アルコール研修会	アルコール依存症と家族	気仙沼市	自治体職員、仮設支援員	40名
9	6月6日	各サテライト主任とのグループワーク	アルコールについて	南三陸町	サポートセンター	6名

10	6月20日	グループワーク研修	事例検討とグループワーク	南三陸町	仮設支援員	9名
11	7月4日	気仙沼市アルコール研修会	アルコール問題の治療と確認	気仙沼市	仮設支援員	43名
12	7月4日	志津川サテライトグループワーク研修	グループワーク	南三陸町	仮設支援員	14名
13	7月5日	アルコール関連問題研修	アルコール関連問題への初期介入	岩沼市	自治体職員	18名
14	7月9～14日	医療機関職員対象アルコール関連問題研修①	アルコール関連問題、支援に必要な知識とスキルについて	沿岸部	沿岸部精神科病院看護師・精神保健福祉士	3名
15	7月18日	歌津サテライトグループワーク研修	グループワーク	南三陸町	仮設支援員	14名
16	7月19日	山元町アルコール研修	アルコールについて	山元町	自治体職員	15名
17	8月6～11日	医療機関職員対象アルコール関連問題研修②	アルコール関連問題、支援に必要な知識とスキルについて	沿岸部	沿岸部精神科病院看護師・精神保健福祉士	3名
18	9月10～15日	医療機関職員対象アルコール関連問題研修③	アルコール関連問題、支援に必要な知識とスキルについて	沿岸部	沿岸部精神科病院看護師・精神保健福祉士	3名
19	9月19日	介護支援専門員等研修会	関係の病としての依存症	気仙沼市	介護支援専門員等	24名
20	10月15～20日	医療機関職員対象アルコール関連問題研修④	アルコール関連問題、支援に必要な知識とスキルについて	沿岸部	沿岸部精神科病院看護師・精神保健福祉士	3名
21	12月5日	仮設支援員等研修会	アルコールとその害について	南三陸町	仮設支援員等	13名
22	12月13日	仮設永井団地入居者アルコール問題事例検討会	アルコール問題個別対応について	石巻市	仮設支援員等	12名
23	1月11日	アルコール関連問題基礎研修	アルコール関連問題とアルコール依存症	石巻市	自治体保健師等	45名
24	1月21日	アルコール勉強会	アルコール依存症とその内容について知る	岩沼市	自治体保健師	2名
25	1月22日	気仙沼市介護支援専門員等研修	嗜癮問題を抱える方への対応	気仙沼市	介護支援専門員等	40名
26	2月8日	アルコール関連問題基礎研修	アルコール関連問題について	石巻市	自治体保健師等地域支援者	40名
27	2月13日	桃生地区アルコールケースに関する地域ケア検討会	アルコールケースの検討	石巻市	地域支援者	30名
28	3月8日	アルコール関連問題基礎研修	アルコール関連問題「精神疾患について	石巻市	行政、医療、障害関係者	40名

3. 人材育成 (2) 震災関連テーマ別研修<高齢者のメンタルヘルス研修>

実施日	研修名	内容	市町村	対象	人数
1	7月18日	第7回岩沼市中心のケア検討会	岩沼市	市保健師、その他支援者	20名
2	2月19日	高齢者の心のケア研修会	石巻市	自治体保健師、訪問看護師等地域支援者	59名
3	2月26日	高齢者の心のケア研修会	岩沼市	自治体保健師、仮設支援員等地域支援者	47名

3. 人材育成 (2) 震災関連テーマ別研修<自殺対策関係研修>

実施日	研修名	内容	市町村	対象	人数
1	10月18日	自殺予防対策研修会	気仙沼市	行政職員、ボランティア等	31名
2	10月22日	自殺予防対策ゲートキーパー養成講座	大崎市	岩出山地区理容業組合員	64名
3	11月15日	美里町 こころの健康作り研修(自殺対策研修)	美里町	民生委員	8名
4	11月20日	平成24年度 こころの健康づくりサポーター講座	塩釜市	精神保健福祉関係者	17名
5	12月20日	平成24年度 第2回自殺予防対策支援研修会	気仙沼市	本吉地域内被災者支援従事者	20名
6	1月25日	登米市 自殺予防対策事業相談窓口担当者研修会	登米市	保健師、相談員ほか	30名
7	2月4日	平成24年度 医療従事者向け自殺対策研修会	登米市	医療従事者	30名
8	2月6日	平成24年度 自殺予防対策研修会	気仙沼市	医療従事者 その他関係機関職員等	42名
9	2月25日	理容所衛生消毒講習会	石巻市	理容生活衛生同業組合員	110名
10	3月5日	平成24年度 大崎市自殺対策事業「ゲートキーパー研修会」	大崎市三本木	民生児童委員	134名
11	3月8日	大和町ゲートキーパー養成研修会	大和町	行政職員、ボランティア、児童福祉関係	40名

3. 人材育成 (2) 震災関連テーマ別研修<子どものメンタルヘルス研修>

実施日	研修名	内容	市町村	対象	人数
1	4月26日	本吉町サポートセンター支援員研修会	気仙沼市本吉町	学童関係職員	11名
2	6月21日	平成24年度 仙台市学校保健会	仙台市	学校関係者	132名
3	7月31日	平成24年度 黒川郡学校保健会	富谷町	学校関係者	50名
4	9月21日	仙台市立病院職員研修	仙台市	医療関係者	50名
5	9月30日	第6回 子ども心の診療医研修会	東京	小児科医・精神科医	165名
6	10月14日	第7回 日本小児心身医学会東北地方会	仙台市	医療関係者	100名
7	10月21日	山形県学校保健会	山形県置賜	精神保健福祉関係者	36名
8	10月23日	東京都児童相談所職員研修	東京都	東京都北児童相談所職員	40名
9	10月24日	第64回 宮城県学校保健会	岩沼市	学校関係者	135名
10	11月8日	平成24年度学校保健研修会	登米市	教育関係者	120名
11	11月9日	名取市要保護児童対策地域協議会研修会	名取市	教育関係者	120名
12	11月22日	兵庫県こころのケアセンター「こころのケア」シンポジウム	兵庫県	精神保健福祉関係 教員	30名
13	11月27日	平成24年度 特別支援教育理解研修会	仙台市	学校関係者	50名
14	11月29日	平成24年度 仙台市保育所連合会保育所(園)長研修会	仙台市	保育関係者	130名
15	12月1日	NPO法人ローゼンベルグ ボランティア&スタッフ研修会	仙台市	ボランティア	20名
16	12月11日	自治体保健師向け研修	気仙沼市	自治体保健師	10名
17	12月25日	宮城県富谷町教育委員会「教育フォーラム」	富谷町	学校関係者	100名
18	1月15日	大和町立鶴巣小学校 児童理解教職員等研修会	大和町	教職員、民生児童委員、家庭教育推進部員	30名
19	2月5日	牡鹿地区 学校保健連絡協議会	石巻市	養護教諭、保健師	10名
20	2月5日	牡鹿総合支所小中学校養護教諭研修	石巻市	養護教諭	10名
21	2月12日	子どもの心のケアに関する研修会	大崎市	児童福祉、保健師	20名
22	2月12日	子どもの心のケア連絡対策会議	大崎市	児童相談所職員等	20名
23	2月15日	みやぎ小児保健セミナー2013	仙台市	小児科医療	50名
24	3月6日	連続セミナー「東日本大震災に学ぶ」第6回	神戸市	精神保健福祉関係	20名

25	3月16日	発達障害医学セミナー	災害時の発達障害児の支援	東京都	精神保健福祉関係 教員	98名
----	-------	------------	--------------	-----	-------------	-----

3. 人材育成 (2) 震災関連テーマ別研修<メディアカンファレンス>

	実施日	研修名	内容	市町村	対象	人数
1	2月20日	メディアカンファレンス	震災後のメンタルケアについて～東松島市の現状報告～	仙台市	メディア関係者等	20名

3. 人材育成 (2) 震災関連テーマ別研修<専門職及び地域の支援者(仮設支援員など)に対するその他研修事業>

	実施日	研修名	内容	市町村	対象	人数
1	4月16日	女川町暮らしの相談員研修会	傾聴ボランティア活動に期待すること(傾聴について)	女川町	仮設支援員	14名
2	4月23日	女川町暮らしの相談員研修会	傾聴ボランティア活動に期待すること(傾聴について)	女川町	仮設支援員	15名
3	4月27日	松島町 食生活改善推進員研修会	震災後の健康状態について考える	松島町	食生活改善推進員	43名
4	5月12日	日本精神科看護技術協会 宮城県支部 一般研修会	災害時の支援	仙台市	看護職	50名
5	5月14日	松山地域精神保健研修会	災害後のこころのケアについて～今後どのように関わったらよいか～	大崎市松山	民生委員・児童委員	20名
6	5月16日	第5回岩沼市中心のケア検討会	パーソナリティ障害、認知に偏りのある方との接し方	岩沼市	市保健師、その他支援者	20名
7	5月24日	第108回日本精神神経学会学術総会(シンポジウム)	宮城県における震災後の精神医療の状況 震災から1年を経て	北海道	学会員 医療福祉関係者 学生	—
8	6月3日	明治安田こころの健康財団 専門講座	東日本大震災初期の精神科病棟での心理教育	東京	子どもに関わる専門職	68名
9	6月8日	石巻市釜・大街道地区保健推進員研修会	生活不活発病について	石巻市	保健推進員	21名
10	6月10日	第11回日本トラウマティック・ストレス学会(ランチョンセミナー)	宮城家における東日本大震災の精神保健医療 ～最近の活動を踏まえて～	福岡	学会員 医療福祉関係者 学生	—
11	6月11日	坂東市岩井地区民生委員児童委員協議会研修会	災害時に求められる役割について	仙台市	民生委員・児童委員	43名
12	6月14日	ホームナース 研修会	活動中の留意点など	多賀城市	ホームナース職員	15名
13	6月20日	第6回岩沼市中心のケア検討会	住民健診のチェックポイント	岩沼市	市保健師、その他支援者	24名
14	6月21日	岩沼市研修①	訪問時に共通して大切なこと	岩沼市	仮設支援員	12名
15	6月23日	第22回日本精神保健看護学会(シンポジウム)	東日本大震災において、今できること?—中長期支援の課題—被災地の看護師支援に焦点を当てて	熊本	学会員 医療福祉関係者 当事者 学生	—
16	6月28日	石巻管内支援者研修会	被災遺族への支援のポイント～悲嘆を抱えた方との面接について～	石巻市	保健師、包括支援センター	26名
17	7月5日	岩沼市研修②	精神疾患を理解して関わる	岩沼市	仮設支援員	10名
18	7月10日	大和町ボランティア友の会研修会	中長期の支援について	大和町	地域ボランティア	18名
19	7月12日	石巻市大橋地区仮設支援員研修会	傾聴について	石巻市	仮設支援員	24名
20	7月20日	メンタルシンポジウムIN浦安	東日本大震災後の精神保健医療活動～宮城での経験から～	浦安市	医療従事者	—
21	7月20日	宮城県精神保健福祉士協会「P研」	被災地の実情とみやぎ心のケアセンターについて	仙台市	宮城県精神保健福祉士協会会員	10名
22	7月23日	石巻市地域介護職員研修会	災害とこころのケア	石巻市	主任ヘルパー	4名
23	7月25日	平成24年度 宮城県中堅民生委員児童委員研修会	災害後の心のケア～被災者の心に寄り添って～	仙台市	民生委員・児童委員	115名
24	7月26日	訪問に関する研修会	ロールプレイを実施	岩沼市	仮設支援員	8名
25	8月1日	グループワーク研修	活動の苦労についての事例検討	南三陸	支援員	20名
26	8月2日	訪問に関する研修会	ロールプレイを実施	岩沼市	仮設支援員	8名
27	8月5日	第7回地域うつ医療推進サミット	地域と職域への支援を通じた宮城での取り組み	東京	医師	—
28	8月22日	石巻市桃生地区仮設支援員研修会	傾聴について	石巻市	仮設支援員	12名
29	8月23日	石巻市渡波地区仮設支援員研修会	傾聴について	石巻市	仮設支援員	17名
30	8月27日	石巻市雄勝・北上地区仮設支援員研修会	傾聴について	石巻市	仮設支援員	12名
31	8月28日	石巻市河北地区仮設支援員研修会	傾聴について	石巻市	仮設支援員	16名
32	8月29日	石巻市稲井地区仮設支援員研修会	傾聴について	石巻市	仮設支援員	32名
33	8月30日	石巻市蛇田・釜・大街道地区仮設支援員研修会	傾聴について	石巻市	仮設支援員	17名
34	8月30日	石巻市 メンタルヘルス講演会(傾聴ボランティア)	震災後の心の変化	石巻市	石巻市 傾聴ボランティア	100名
35	8月31日	石巻市牡鹿地区仮設支援員研修会	傾聴について	石巻市	仮設支援員	4名
36	8月31日	宮城県主催 宮城県心のケア研修会	被災者への心のケア～被災者を適切な支援につなげるために～	仙台市	精神保健福祉関係者	30名
37	9月1日	石巻SPR研修	サイコロジカル・リカバリー・スキルに関する研修	石巻市	石巻地区を中心とした地域支援者	25名
38	9月3日	石巻市河南地区仮設支援員研修会	傾聴について	石巻市	仮設支援員	17名
39	9月8日	高知県産業医学研修会	大規模災害後のメンタルヘルス対策について	高知市	医療従事者	—
40	9月11日	石巻市メンタルヘルス講演会(傾聴ボランティア)	相手の心はどう寄り添うの?	石巻市	石巻市 傾聴ボランティア	70名
41	9月12日	石巻市渡波地区保健推進員心のケア研修会	こころのケアについて	石巻市	保健推進員	14名
42	9月20日	石巻市保健推進員研修会	この頃なんとなく疲れているなあと感じたら～自分と大切な人を守るための健康づくり～	石巻市	保健推進員	40名
43	9月20日	色麻町教職員・民生委員等研修会	児童虐待について	色麻町	教職員、民生委員	11名
44	9月23日	第66回 東北精神神経学会総会	被災地のこころの復興に向けて「宮城県におけるこころのケア	秋田市	学会員 医療福祉関係者 学生	200名
45	9月28日	平成24年度 気仙沼障害者福祉フォーラム	災害後のこころの反応について	気仙沼市	障害者福祉関係	30名
46	9月29日	石巻SPR研修	サイコロジカル・リカバリー・スキルに関する研修	石巻市	石巻地区を中心とした地域支援者	18名
47	9月30日	石巻市メンタルヘルス講演会(傾聴ボランティア)	相手の心はどう寄り添うの?	石巻市	石巻市 傾聴ボランティア	54名
48	10月3日	仮設支援員グループワーク研修	傾聴の意味と話を聴く支援の重要性について	南三陸町	見なし仮設支援員、保健師	8名
49	10月13日	第55回 日本病院・地域精神医学会	シンポジウム 東日本大震災そして原発災害と精神保健「被災地における精神保健の現状と課題」	名古屋市	学会員 医療福祉関係者 学生	1000名
50	10月19日	仙台市ボランティア連絡協議会	心のケアについて	仙台市	ボランティアスタッフ	30名
51	10月19日	.2012年世界精神医学会国際会議(シンポジウム)	Mental health issues and countermeasures after the Great East Japan Earthquake in Miyagi Prefecture	Praha,Czech Republic	学会員 医療福祉関係者 学生	—
52	10月24日	高砂在宅ケア連絡会研修会「震災後1年半が経過して改めて心のケアを考える」	震災後のこころのケア	仙台市	支援者	40名
53	10月25日	全国精神保健福祉連絡協議会総会	被災地における精神保健の現状と課題	宮城県	精神保健福祉関係者	30名
54	10月27日	石巻SPR研修	サイコロジカル・リカバリー・スキルに関する研修	石巻市	石巻地区を中心とした地域支援者	15名
55	10月30日	日本訪問看護財団メンタルヘルス研修	事例を通して必要な視点や見立て、実際の支援の流れを紹介	名取市	訪問看護師	8名
56	10月31日	第9回岩沼市中心のケア検討会	事例を通して精神障害者への対応を検討する	岩沼市	市保健師、その他支援者	20名
57	11月1日	平成24年度 被災地における「こころのケア」活動従事者研修会	東日本大震災後の精神保健の現状と課題	新潟県長岡市	精神保健福祉関係者	30名
58	11月1日	平成24年度仙台市民生委員児童委員協議会理事・評議員移動研修会	震災の影響とこころと身体のケア	仙台市	民生児童委員	70名
59	11月7日	仮設支援員グループワーク研修	支援員での関係性や、支援者としての守秘義務について	南三陸町	仮設支援員	8名
60	11月13日	平成24年度 労務管理講座	震災後に起こる精神的問題に関するこれからの対応	仙台市	企業労務管理者	30名

61	11月17日	(特非)精神保健福祉交流促進協会 第19回キャリアアップ支援研修	東日本大震災 宮城県内での取り組み	仙台市	精神保健福祉関係者	40名
62	11月21日	仮設支援員グループワーク研修	対応の仕方戸惑うこと	南三陸町	仮設支援員	13名
63	11月24日	第12回日本認知療法学会(シンポジウム)	大規模災害後の支援:認知行動的な心理支援の普及に向けた取り組み	東京	学会員 医療福祉関係者 学生	—
64	11月28日	第10回岩沼市中心のケア検討会	事例を通して悲嘆について検討する	岩沼市	市保健師、その他支援者	20名
65	12月8日	兵庫県精神保健福祉士協会定例研修	東日本大震災について「聞く・学ぶ・考える」	兵庫県神戸市	兵庫県精神保健福祉士協会会員	15名
66	12月11日	気仙沼復興協会(KRA) 職員研修会	地域で回復するために	気仙沼市	KRA職員	40名
67	12月13日	第3回 県域障害者就労支援機関連絡会議	こころの健康をたもつために	気仙沼市	障害者福祉関係者	30名
68	12月19日	第11回岩沼市中心のケア検討会	年の瀬のふりかえり ~「心のケア」を見直しませんか?~	岩沼市	市保健師、その他支援者	20名
69	1月11日	仮設支援管理者研修	チームづくりについて	多賀城市	仮設支援管理者	8名
70	1月18日	仮設支援管理者研修	チームづくりについて	多賀城市	仮設支援管理者	4名
71	1月21日	大崎市松山民生委員児童委員研修会	被災者支援を通して心のケアを考える	大崎市	民生委員、行政職員、社協職員	20名
72	1月22日	黒川郡内町村社会福祉協議会 研修会	災害からの回復を支える	大和町	社会福祉協議会職員	100名
73	1月23日	震災とこころのケア講演会 in 仙台	震災後のこころのケア~中長期的な支援に向けて~	仙台市	医療保健関係者	—
74	1月23日	第12回岩沼市中心のケア検討会	「道具」としてのコミュニケーションスキル	岩沼市	市保健師、その他支援者	20名
75	1月31日	タッピングタッチ研修	タッピングタッチについて	気仙沼市	ボランティアセンター職員	21名
76	2月1日	仮設支援員リーダー研修(第1回)	チームについて	多賀城市	仮設支援員リーダー	6名
77	2月1日	平成24年度PTSD対策専門研修事業大規模災害対策コース(精神医療関係)	東日本大震災の活動経験より	東京	医療従事者	150名
78	2月4日	気仙沼市派遣職員研修	転地に伴うストレスとコミュニケーション	気仙沼市	気仙沼市派遣職員	76名
79	2月5日	事例検討会	リストカット事例について	石巻市	自治体保健師等	9名
80	2月5日	牡鹿地区 保健推進員研修会	震災2年を迎えるにあたって(震災後の心の変化)	石巻市	保健推進員	18名
81	2月11日	災害精神支援の方略を立案するワークショップ	東日本大震災における宮城の精神医療と精神保健における被害と支援活動	東京	専門家	30名
82	2月13日	石巻市子育て支援センター職員研修会	援助者の心のケアと、感情・気持ちを大切にすることについて	東松島市	子育て支援関係者	21名
83	2月19日	平成24年度石巻市保健推進員研修会	相手の気持ちに寄り添うとは	石巻市	自治体保健師等	29名
84	2月20日	第13回岩沼市中心のケア検討会	こころの健診を振り返る、「道具」としてのコミュニケーションスキル part 2	岩沼市	市保健師、その他支援者	18名
85	2月20日	心のケアミーティング	みなし仮設住民健康調査フォロー結果についての報告	石巻市	地域支援者	23名
86	2月22日	共立メンテナンス職員研修	チームワークについて	多賀城市	共立メンテナンス職員(仮設支援員)	6名
87	2月25日	和歌山県精神保健福祉関連専門研修会	東日本大震災後の精神保健の現状と課題	和歌山市	精神保健福祉関係者	30名
88	3月2日	緊急市民シンポジウム	東日本大震災、もうひとつの危機に備えて「津波被災住民のこころの問題を考える」	東京都	医療関係者 メディア関係者 一般市民	100名
89	3月5日	サロスタッフに対する、被災者への対応研修	話を聞くときの注意点	名取市	行政職員、民間団体	20名
90	3月6日	東北大学実践宗教学寄付講座	精神保健と医療	県全域	僧侶及び牧師	15名
91	3月8日	大崎市障害者地域活動支援センターと関係機関の合同研修会	障害者の支援について	大崎市	行政職員	19名
92	3月13日	名取市訪問看護財団研修	心のリスクを抱えた方との接し方	名取市	訪問看護財団	4名
93	3月14日	司法書士会での講話	宮城県内の被災者の状況について	仙台市	行政、司法関係者	13名
94	3月23日	SPRフォローアップ研修in石巻	SPRを用いた支援に関する事例検討(事例3件)	石巻市	行政関係者	2名
95	3月26日	名取市コミュニティ再生事業の委託を受けている青年海外協力隊対象とした研修	ストレスケアマネジメント	名取市	行政、公的団体	16名
96	3月26日	虐待初期対応研修会	初期対応や親支援の方法についてのグループワーク	岩沼市	行政、仮設支援員、児童福祉等	22名
97	通年	心理支援スキルアップ講座(全15回)	心理支援スキルに関する研修会	仙台市	心理士 他	450名
98	通年	復興支援センターひより事例検討会(全34回)	事例検討	名取市	生活相談支援員	340名

3. 人材育成 (3) 支援者のメンタルヘルス研修

	実施日	研修名	内容	市町村	対象	人数
1	4月11日	宮城県看護協会塩釜支部:メンタルヘルス研修会	災害後の心のケア—患者さんと自分たちのためのメンタルケア—	塩釜市	看護師	25名
2	4月12日	石巻市管理職員並びに部下に対する心と体のケア研修	震災後のメンタルヘルスケアについて	石巻市	石巻市役所管理職	25名
3	4月12日	石巻地方広域水道企業団メンタルヘルス研修会	震災後1年を経過して気をつけたい心の健康について	石巻市	石巻地方広域水道企業団職員	34名
4	4月18日	第4回岩沼市中心のケア検討会	保健師のメンタルヘルス・二次被災のケア	岩沼市	市保健師、その他支援者	2名
5	4月26日	石巻地方広域水道企業団メンタルヘルス研修会	震災後1年を経過して気をつけたい心の健康について	石巻市	石巻地方広域水道企業団職員	125名
6	5月14日	気仙沼市職員管理職研修	震災後のメンタルヘルス	気仙沼市	気仙沼市職員管理職	32名
7	5月15日	気仙沼市職員管理職研修	震災後のメンタルヘルス	気仙沼市	気仙沼市職員管理職	32名
8	5月17日	石巻広域行政事務組合職員向け	震災後のメンタルヘルスケアについて	石巻市	石巻広域行政事務組合職員向	103名
9	5月21日	公立志津川病院看護師メンタルヘルス研修会	災害後の心のケア	南三陸町	看護師	6名
10	5月24日	公立志津川病院看護師メンタルヘルス研修会	災害後の心のケア	登米市	看護師	6名
11	6月1日	石巻広域行政事務組合メンタルヘルス研修会	震災後1年を経過して気をつけたい心の健康について	石巻市	石巻広域行政事務組合職員向	112名
12	6月7日	石巻地方広域水道企業団メンタルヘルス研修会	震災後1年を経過して気をつけたい心の健康について	石巻市	石巻地方広域水道企業団職員	27名
13	6月10日	第11回日本トラウマティック・ストレス学会(シンポジウム)	東日本大震災におけるトラウマティック・ストレスが看護師に及ぼす影響と今後の支援課題	福岡	学会員 医療福祉関係者 学生	—
14	6月25日	自衛隊船岡駐屯地講演会	震災後のメンタルヘルスケアについて	柴田町	船岡駐屯地自衛隊隊員	20名
15	6月26日	石巻市地域包括支援センター職員研修会	ケア提供者のメンタルヘルス	石巻市	包括職員、ケアマネージャー	20名
16	7月3日	石巻市地域包括支援センター職員研修会	ケア提供者のメンタルヘルス	石巻市	包括職員、ケアマネージャー	20名
17	7月26日	日本医師会平成24年度救急災害医療担当理事連絡協議会	災害医療支援者のメンタルヘルス	東京	医師会救急災害医療担当理事	176名
18	7月29日	第14回日本災害看護学会(シンポジウム)	被災地看護職へのこころのケアと今後の課題	愛知	学会員 医療福祉関係者 学生	—
19	8月20日	角田市職員研修会	こころの健康をたもつために~ライフワークバランス再考~	角田市	角田市職員	23名
20	8月22日	第3回 ケアマネージャー連絡会	こころの健康をたもつために	多賀城市	介護職	50名
21	8月24日	自衛隊船岡駐屯地講演会 メンタルヘルス研修会	震災後のメンタルヘルスケアについて	柴田町	自衛隊幹部	25名
22	8月24日	松島町 支援者支援研修会	こころの健康をたもつために	松島町	精神保健福祉関係者	66名
23	8月29日	第8回岩沼市中心のケア検討会	支援者のストレスと燃え尽き	岩沼市	市保健師、その他支援者	20名
24	9月6日	亶理町社会福祉協議会 支援者メンタルサポート事業	災害後のこころの健康について	亶理町	社協職員、仮設支援者	27名
25	9月13日	石巻広域行政事務組合指導監督的職員	メンタルヘルスケアについて	石巻市	石巻広域行政事務組合職員	63名
26	9月20日	石巻広域行政事務組合指導監督的職員	メンタルヘルスケアについて	石巻市	石巻広域行政事務組合職員	2名
27	9月27日	宮城県被災者支援従事者研修ステップアップ研修I	支援員の心のケア	仙台市	支援員	30名
28	10月2日	南三陸町職員管理者研修	震災後における職場でのメンタルヘルス	南三陸町	南三陸町職員管理職	15名
29	10月4日	南三陸町職員管理者研修	震災後における職場でのメンタルヘルス	南三陸町	南三陸町職員管理職	15名

30	10月4日	宮城県被災者支援従事者研修ステップアップ研修I	支援員の心のケア	南三陸町	気仙沼地区サポートセンター支援員	53名
31	10月5日	塩釜地区産業衛生安全大会	働き盛り層におけるメンタルヘルスのポイント	塩竈市	労働衛生担当者	40名
32	10月16日	南三陸町生活支援員研修	コミュニケーションとセルフケア	登米市	南三陸町生活支援員	29名
33	10月17日	平成24年度 第2回介護支援専門員等研修	援助者のセルフケアについて	気仙沼市	介護支援専門員等	26名
34	10月18日	宮城県被災者支援従事者研修	支援員のケア	石巻市	仮設支援員	70名
35	10月21日	第13回日精診チーム医療・地域リハビリテーション研修会	災害とメンタルヘルス～今めざしているもの～(支援者のメンタルヘルスを中心に)	宮城県松島町	精神保健福祉関係者	100名
36	10月24日	南三陸町生活支援員研修	コミュニケーションとセルフケア	南三陸町	南三陸町生活支援員・福祉職員	28名
37	10月24日	兵庫県こころのケアセンター:連続セミナー東日本大震災に学ぶ第1回	被災地看護職のストレスとこころのケアー被災地看護職への継続的なメンタルヘルス支援の実践からー	神戸市	医療保健福祉従事者	—
38	10月26日	気仙沼市健康調査報告会	職員のメンタルヘルスについて	気仙沼市	市役所職員	30名
39	10月30日	宮城県被災者支援従事者研修	支援員のケア	石巻市	仮設支援員	80名
40	11月6日	亘理町社会福祉協議会 支援者メンタルサポート事業	心と身体のセルフメンテナンス	亘理町	社協職員、仮設支援者	25名
41	11月6日	名取市職員研修会(管理職対象)	こころの健康をたもつために	名取市	名取市職員	30名
42	11月12日	石巻市健康推進課保健師研修	支援者のセルフケア	石巻市	石巻市保健師	17名
43	11月13日	宮城県石巻合同庁舎職員研修会	職場のメンタルヘルスについて	石巻市	県職員	40名
44	11月16日	南三陸町生活支援員研修	自分のケアをどうするか	南三陸町	生活支援員	47名
45	11月19日	名取市職員研修会(一般職対象)	「こころの健康をたもつために」「筋膜マッサージによるリラクゼーション」	名取市	名取市職員	30名
46	11月19日	平成24年度外国人等相談窓口研修会	面接の基本と支援者のメンタルヘルス	仙台市	県職員	30名
47	11月20日	宮城県石巻合同庁舎職員研修会	職場のメンタルヘルスについて	石巻市	県職員	40名
48	11月21日	宮城県被災者支援従事者研修ステップアップ研修I	ストレスとリラクゼーション	石巻市	仮設支援員	30名
49	11月26日	東松島市矢本赤井の里職員研修会	働き盛り層におけるメンタルヘルスのポイント～自分と大切な人を守るための心の健康づくり～	東松島市	介護職員、生活相談員等	42名
50	11月27日	宮城県石巻合同庁舎職員研修会	職場のメンタルヘルスについて	石巻市	県職員	40名
51	12月6日	自衛隊船岡駐屯地講演会	震災後のメンタルヘルスケアについて	柴田町	船岡駐屯地自衛隊隊員	60名
52	12月9日	第38回 障がい者の福祉を高める会	こころの健康をたもつために	気仙沼市	障害者福祉関係者	50名
53	12月19日	復興支援コーディネーター及び生活支援相談員情報交換会	亘理町での取組の紹介、支援者支援としての筋膜マッサージ	亘理町	岩沼地域復興コーディネーター・生活支援相談員	20名
54	1月16日	南三陸町仮設支援員研修	「援助職のセルフケアについて」	登米市	仮設支援員	19名
55	1月28日	青葉区障害高齢課職員研修	職場のメンタルヘルスについて	仙台市	仙台市行政職員	30名
56	1月29日	石巻市地域介護職員研修会	対人援助職のメンタルヘルス	石巻市	訪問介護事業所職員	6名
57	2月5日	石巻市地域介護職員研修会	対人援助職のメンタルヘルス	石巻市	訪問介護事業所職員	5名
58	2月5日	亘理町社会福祉協議会 支援者メンタルサポート事業	アロママッサージの使用法とマッサージ体験	亘理町	仮設支援員	18名
59	2月7日	石巻市職員へのメンタルヘルス研修会	職場のメンタルヘルス:上司の立場で	石巻市	石巻市職員	70名
60	2月19日	山元町職員研修会	こころの健康を保つために	山元町	山元町職員管理職	10名
61	2月19日	平成24年度 多賀城市保健衛生推進員研修会	こころの健康を保つために	多賀城市	保健衛生推進員	40名
62	2月21日	石巻市職員へのメンタルヘルス研修会	職場のメンタルヘルス:上司の立場で	石巻市	石巻市職員	43名
63	2月28日	南三陸町 職員メンタルヘルス研修会	職員健康調査の結果と対策	南三陸町	南三陸町職員	154名
64	3月5日	支援する人への支援ケア	癒しのサプリメント-自分で整体-	仙台市	行政職員	4名
65	3月6日	支援員研修	援助者のセルフケアについて	南三陸町	仮設支援員	50名
66	3月6日	仕事の中で感じる疲れとセルフケアについて(中核支えあいセンター生活支援相談員研修)	心と身体の関係性について	仙台市	仮設支援員	19名
67	3月13日	仕事の中で感じる疲れとセルフケアについて(中核支えあいセンター生活支援相談員研修)	心と身体の関係性について	仙台市	仮設支援員	16名
68	3月15日	自衛隊船岡駐屯地講演会	震災後のメンタルヘルスケアについて	柴田町	船岡駐屯地自衛隊隊員	60名

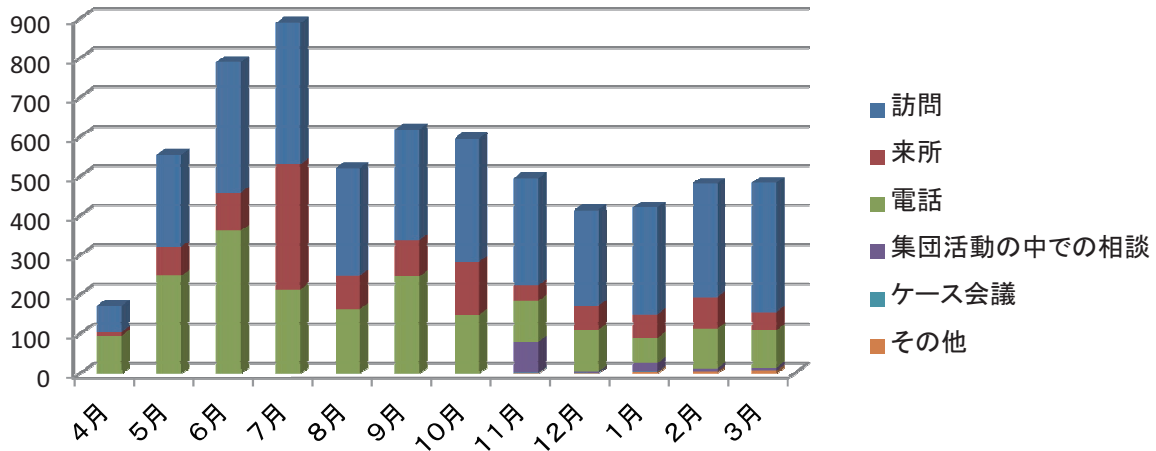
3. 人材育成 (4)職員定例研修

	実施日	研修名	内容	市町村	対象	人数
1	4月2～6日	平成24年度みやぎ心のケアセンター初任者職員研修	震災後の状況と宮城県の取り組み、みやぎ心のケアセンターについて 他	仙台市	心のケアセンター職員	36名
2	5月23日	平成24年度みやぎ心のケアセンター定例職員研修①	宮城県におけるこれまでの支援経過と、今後求められる支援のあり方について	仙台市	心のケアセンター職員	44名
3	6月22日	平成24年度みやぎ心のケアセンター定例職員研修②	東日本大震災とPTSD 心的外傷の理解とケアについて	仙台市	心のケアセンター職員	38名
4	7月21,22日	平成24年度みやぎ心のケアセンター定例職員研修③	サイコロジカル・リカバリースキル(SPR)研修	仙台市	心のケアセンター職員	27名
5	8月24日	平成24年度みやぎ心のケアセンター定例職員研修④	対人援助の基本とチームや連携のあり方～論理と感情の切り替えを大切に～	仙台市	心のケアセンター職員	27名
6	9月21日	平成24年度みやぎ心のケアセンター定例職員研修⑤	「トラウマとレジリエンス」をみる-大人から子どもへ、個人から集団へ-	仙台市	心のケアセンター職員	26名
7	11月22日	平成24年度みやぎ心のケアセンター定例職員研修⑥	事例検討会	仙台市	心のケアセンター職員	29名
8	12月21日	平成24年度みやぎ心のケアセンター定例職員研修⑦	援助する人へのサポート～リフレクティングスーパービジョン～	仙台市	心のケアセンター職員	35名
9	1月25日	平成24年度みやぎ心のケアセンター定例職員研修⑧	対人援助職に求められるマナーについて	仙台市	心のケアセンター職員	21名
10	2月27日	平成24年度みやぎ心のケアセンター定例職員研修⑨	平成24年度におけるみやぎ心のケアセンターの活動を振り返る～これからの展望と課題について～	仙台市	心のケアセンター職員	32名
11	6月19日	みやぎ心のケアセンター石巻地域センター職員研修	アルコール依存症と治療について	石巻市	心のケアセンター職員、保健所職員	18名
12	通年	東北会病院アルコール関連問題・心のケアセンター職員研修	アルコール・薬物関連問題に関する知識と技術の習得	仙台市	心のケアセンター職員	18名

4. 地域住民支援

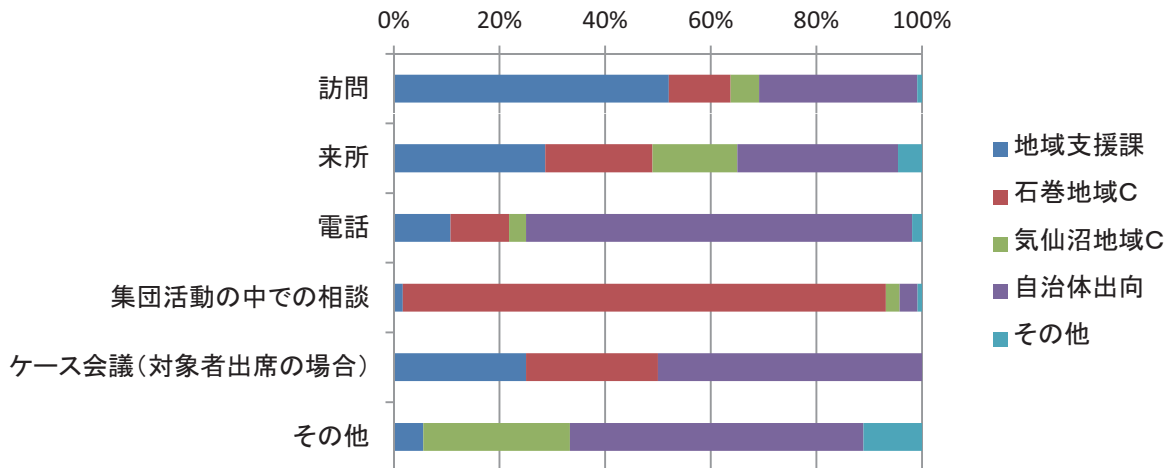
① 支援方法別実施状況

①-a 月別実施件数

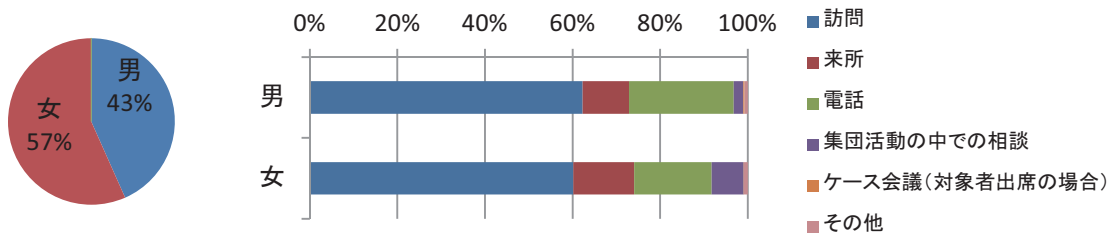


①-b以降のデータについては、統計項目の都合上平成24年11月～平成25年3月の期間で作成

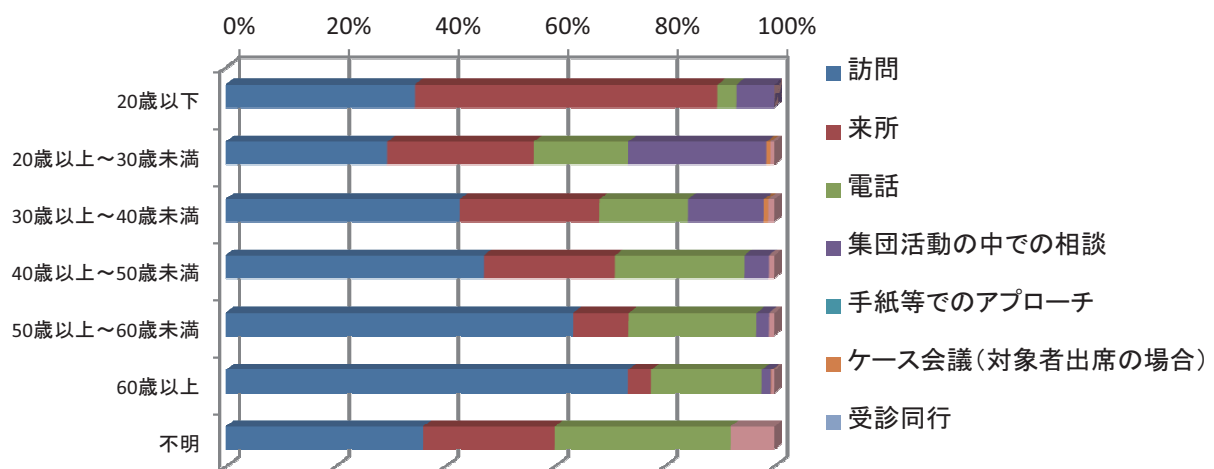
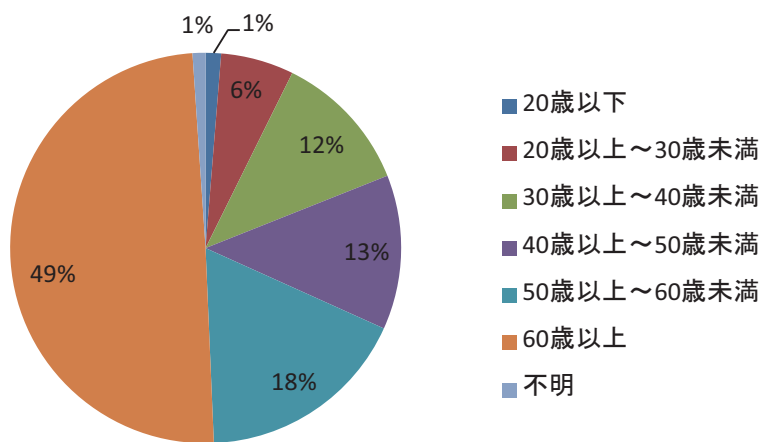
①-b 担当課別割合



①-c 対象者男女別割合



①-d 年齢層別実施件数



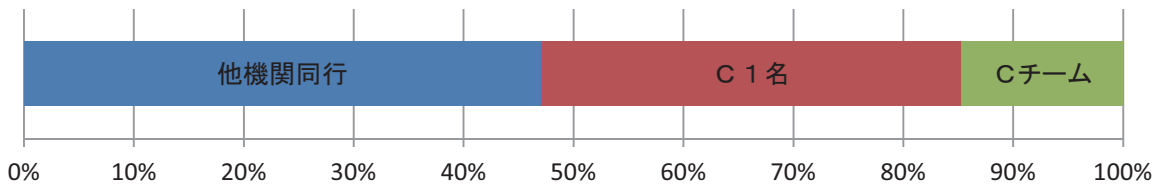
② 自治体別支援実施状況

	訪	来
仙台市	2	9
青葉区	1	5
宮城野区	1	4
若林区	0	0
泉区	0	0
太白区	0	0
仙南保健所	3	0
白石市	0	0
角田市	3	0
蔵王町	0	0
七ヶ宿町	0	0
大河原町	0	0
村田町	0	0
柴田町	0	0
川崎町	0	0
丸森町	0	0

	訪	来
塩釜保健所圏域	105	14
塩釜市	2	0
利府町	0	2
松島町	40	2
七ヶ浜町	0	0
多賀城市	63	10
黒川支所圏域	13	2
大和町	13	2
大郷町	0	0
富谷町	0	0
大衡村	0	0
岩沼支所圏域	608	43
名取市	463	25
岩沼市	87	16
亘理町	57	1
山元町	1	1

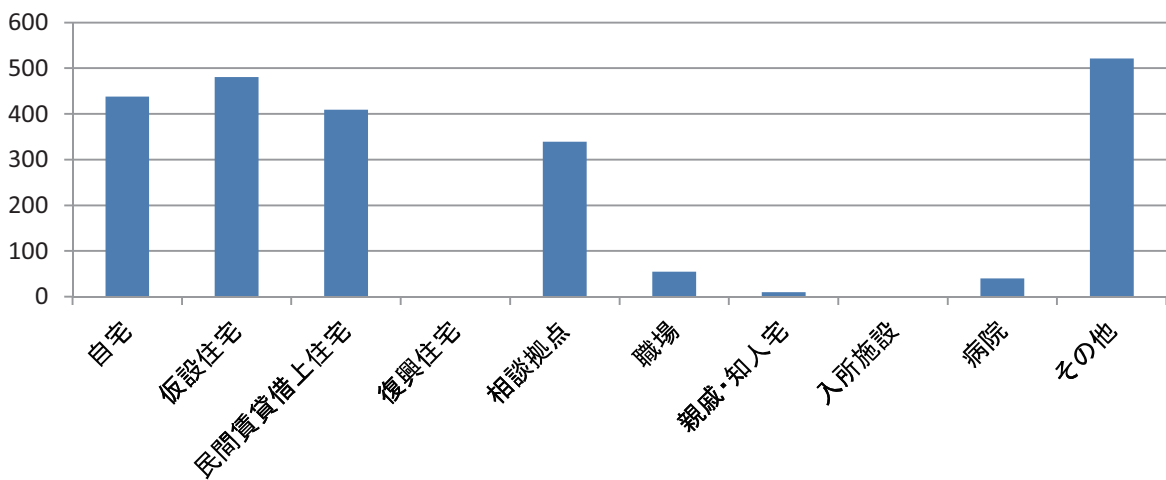
	訪	来
大崎保健所圏域	3	0
大崎市	3	0
加美町	0	0
色麻町	0	0
美里町	0	0
涌谷町	0	0
石巻保健所圏域	482	133
石巻市	237	34
東松島市	153	47
女川町	92	52
気仙沼保健所圏域	168	84
気仙沼市	160	52
南三陸町	8	32
栗原保健所圏域	0	0
栗原市	0	0
登米保健所圏域	12	1
登米市	12	1
県外	5	0

③ 訪問時スタッフ構成



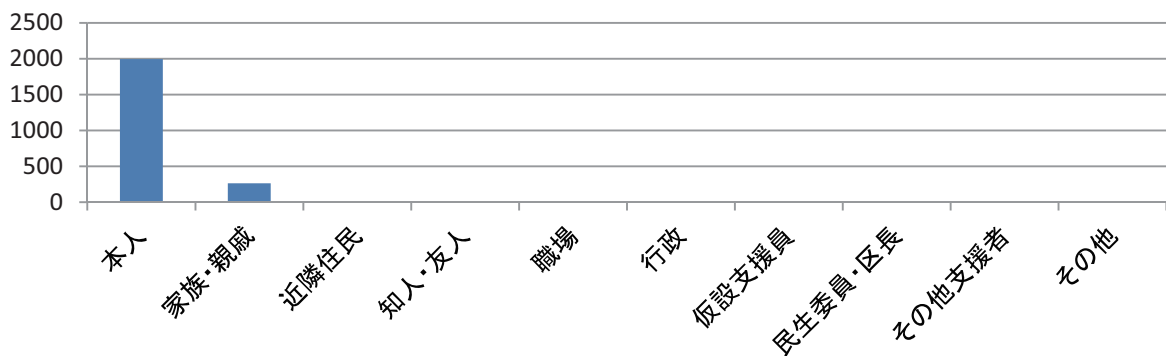
※「Cチーム」でなおかつ「他機関合同」であった場合は「他機関合同」にカウントしている。

④ 相談場所別件数



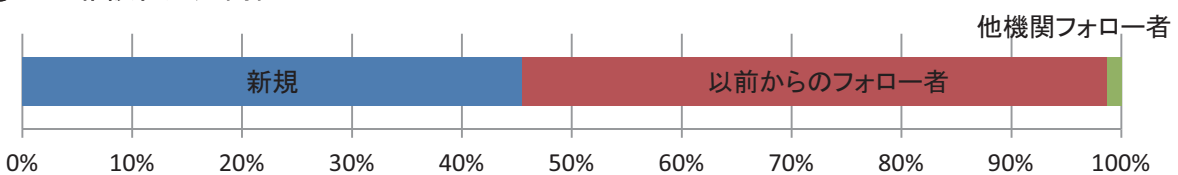
⑤ 相談者と対象者の関係別件数

相談者と対象者の関係性

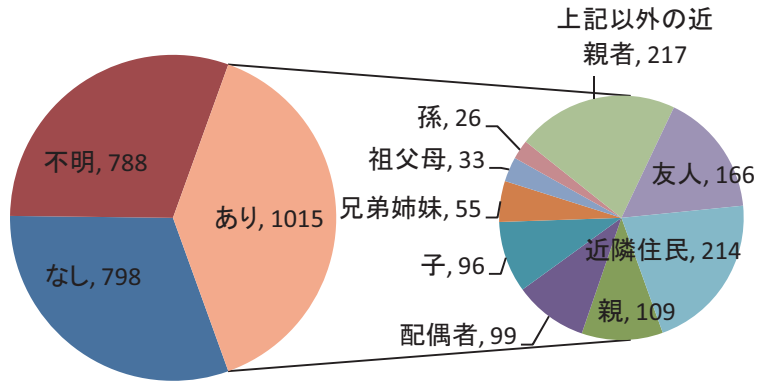


⑥ 対象者の詳細

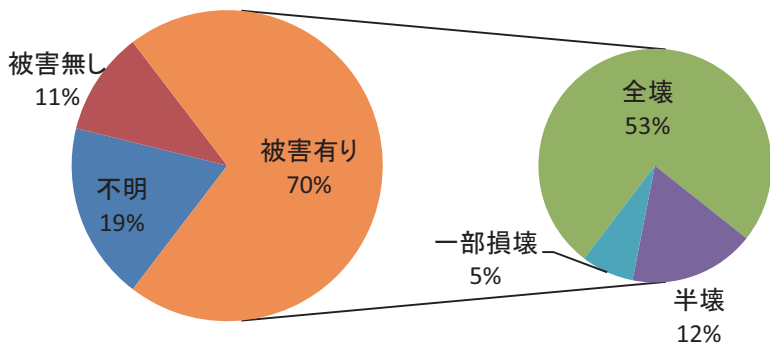
⑥-a 相談経過別割合



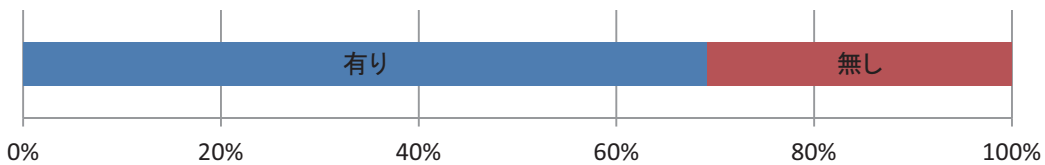
⑥-b 被災の状況(死別)



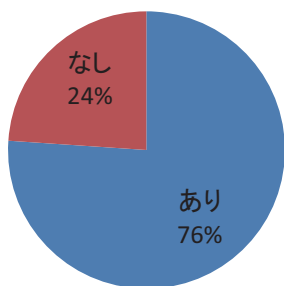
⑥-c 被災の状況(住居)



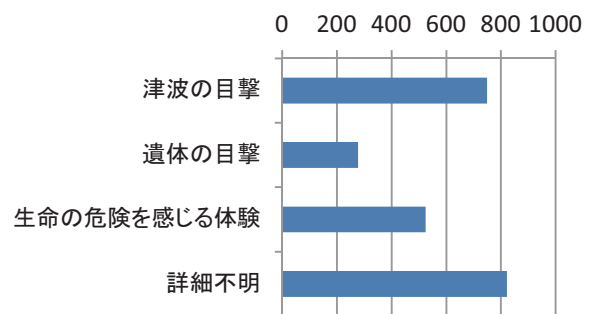
⑥-d 被災の状況(震災による転居)



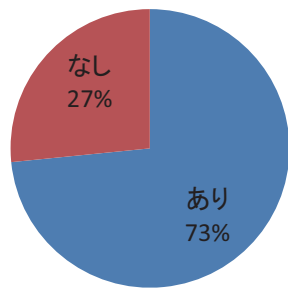
⑥-e 被災の状況(経験)



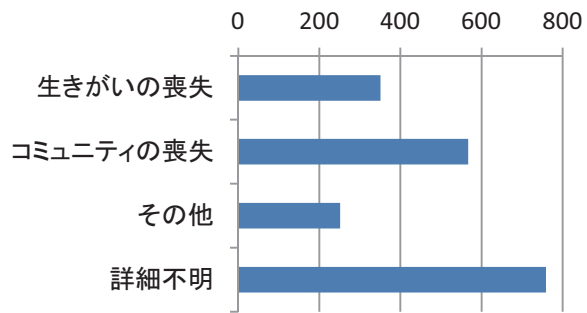
経験した内容(複数回答)



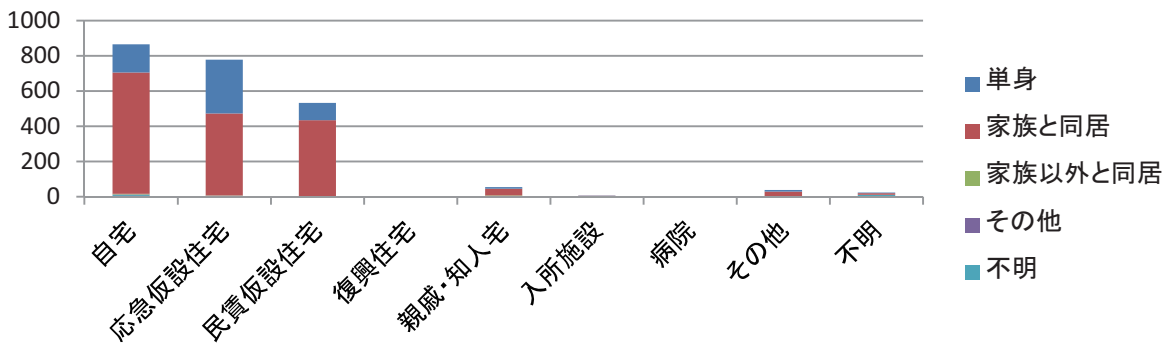
⑥-f 被災の状況(環境への影響)



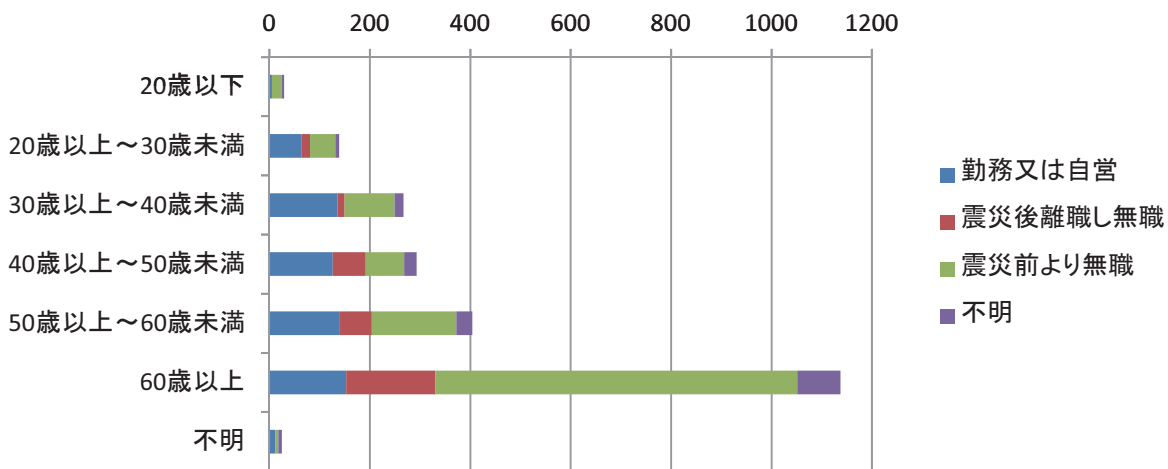
環境の内容(複数回答)



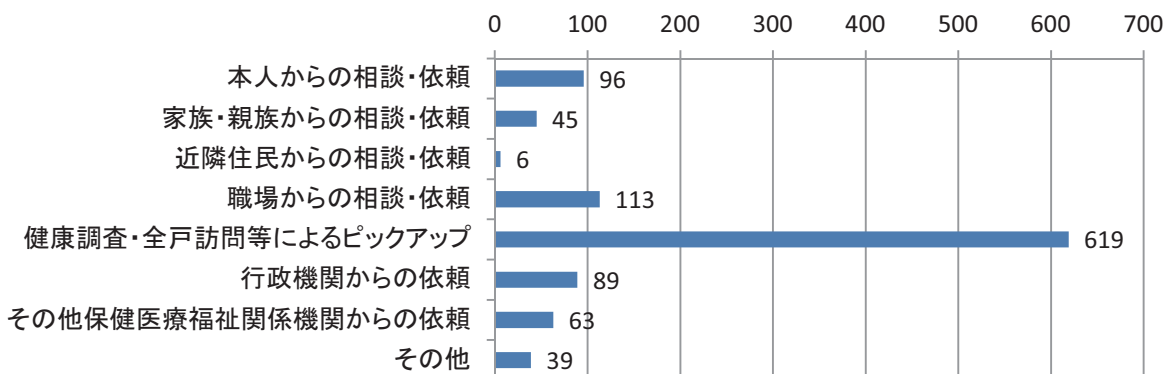
⑥-g 住環境と世帯の状況



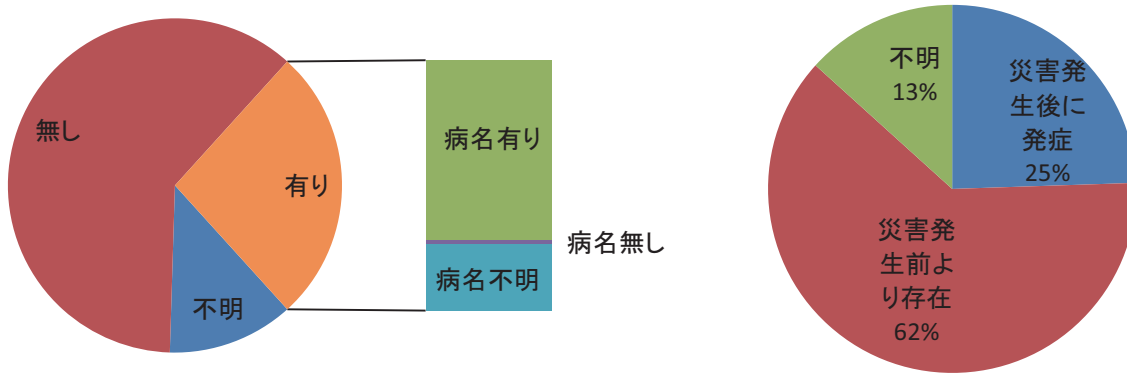
⑥-h 年齢構成別、勤務の状況



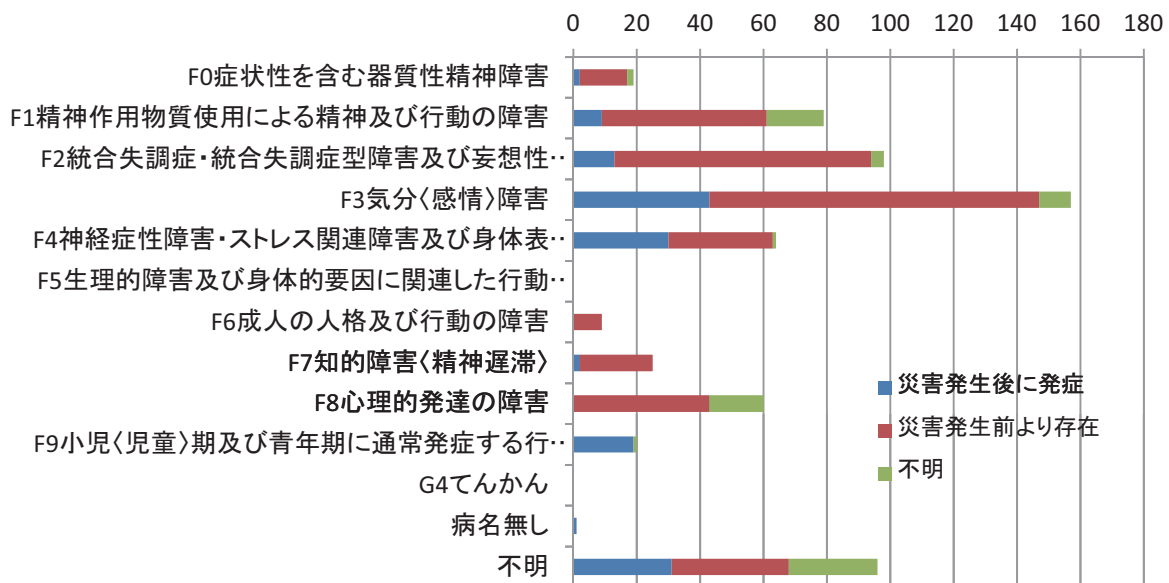
⑥-i 相談の契機(『相談の経過』が新規または他機関フォロー者のみ)



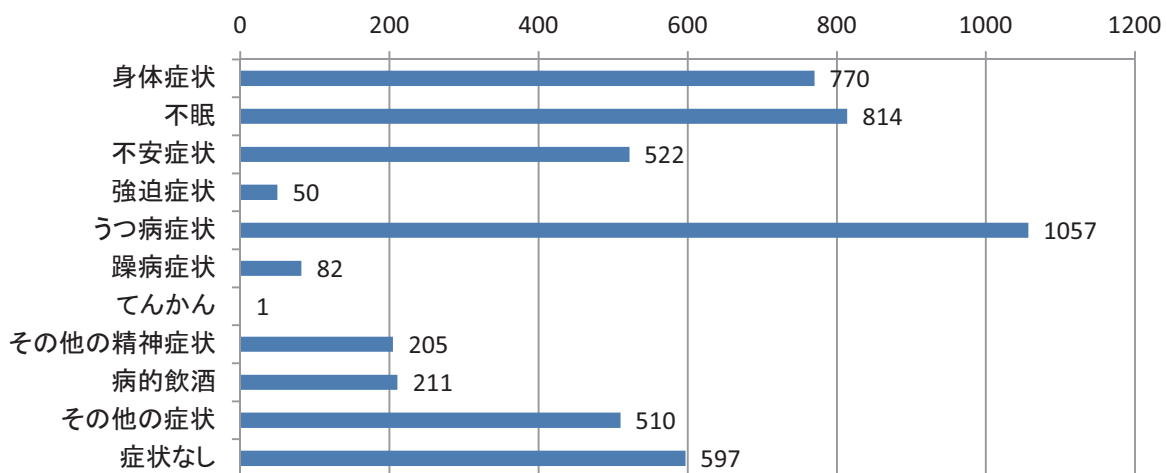
⑥-j 精神科受診の状況



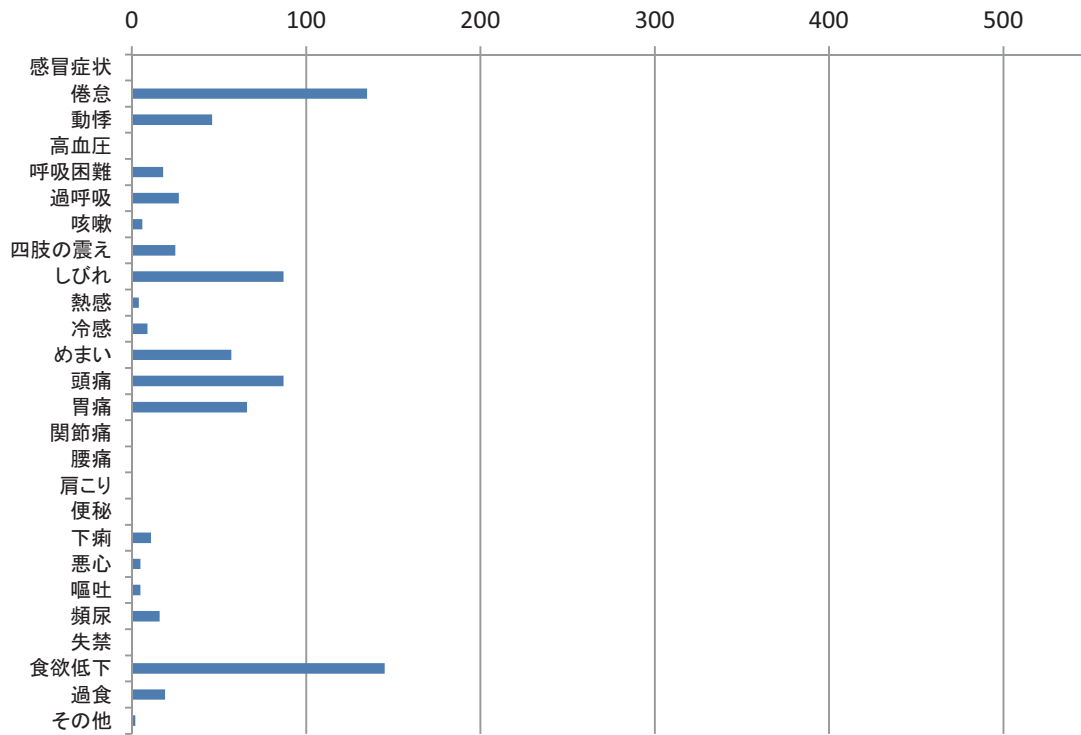
⑥-k 発症時期別、病名(主病名及び副病名)



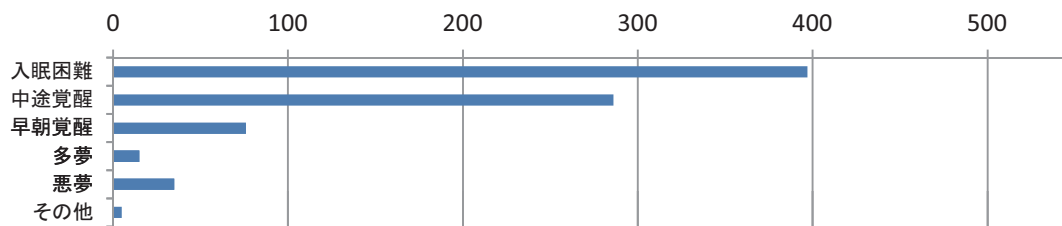
⑥-l 症状(大項目) 主たる症状5項目まで記載可



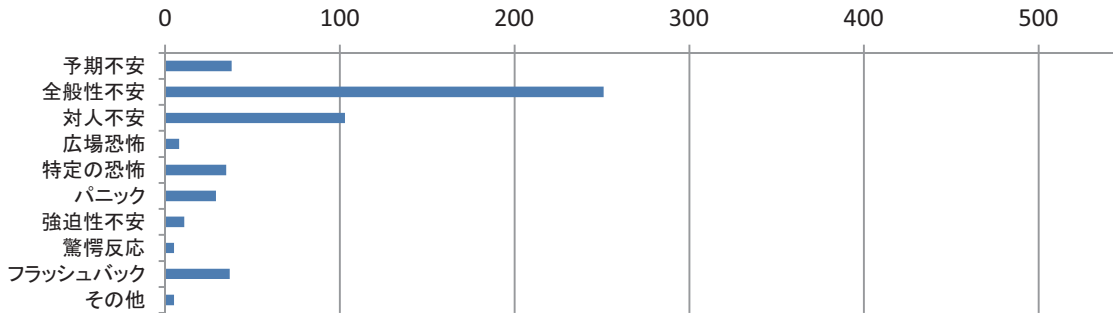
(身体症状)



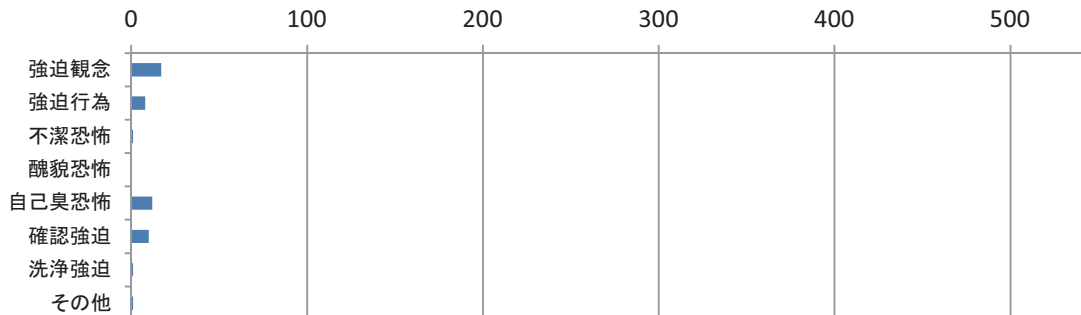
(不眠)



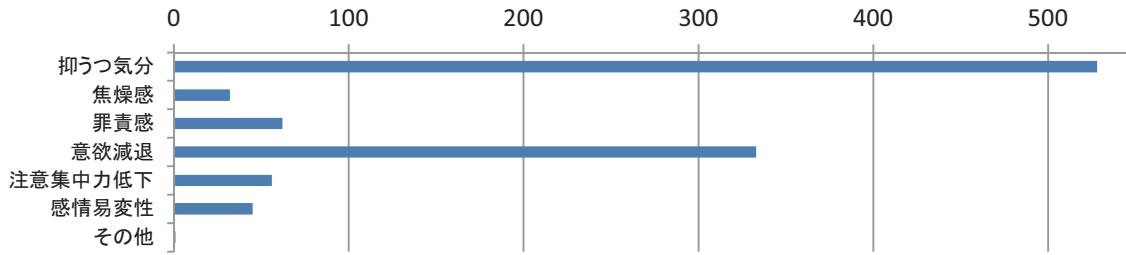
(不安症状)



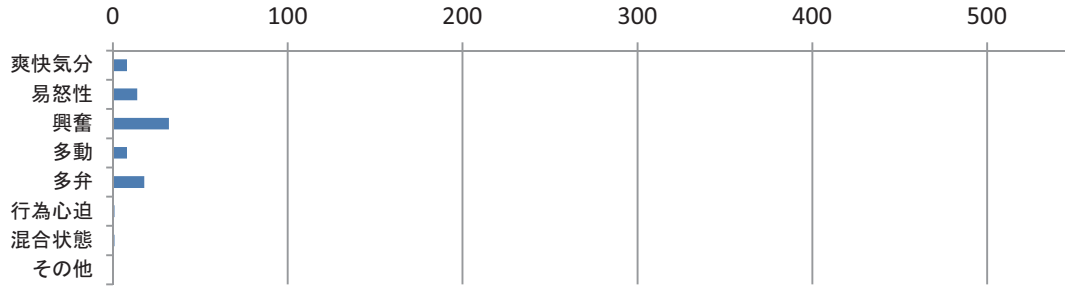
(強迫症状)



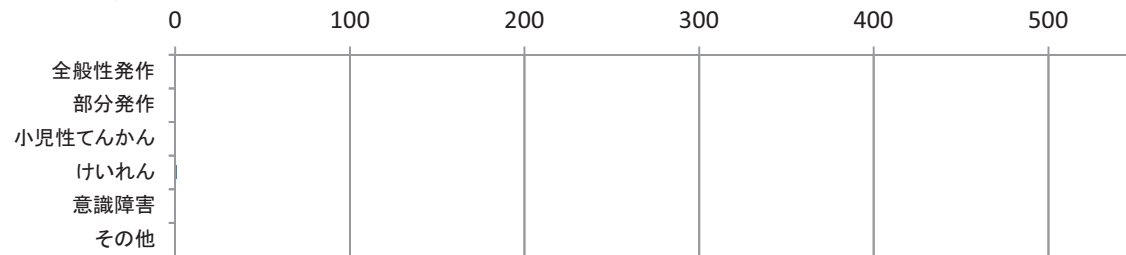
(うつ症状)



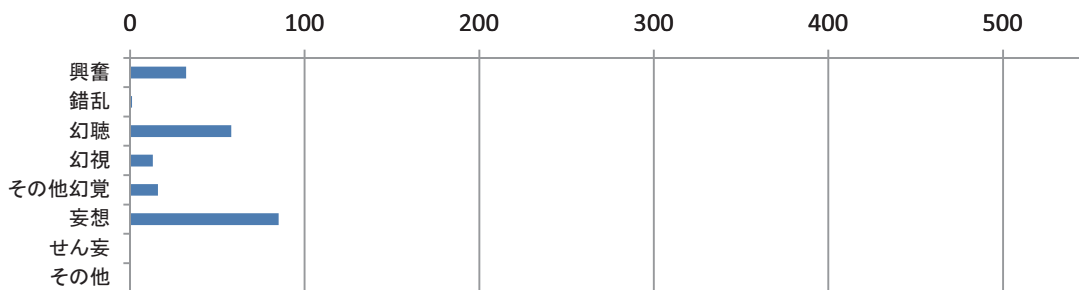
(躁病症状)



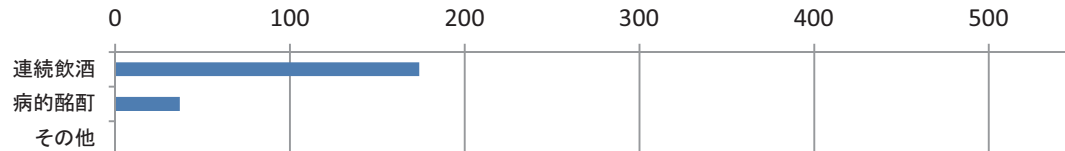
(てんかん)



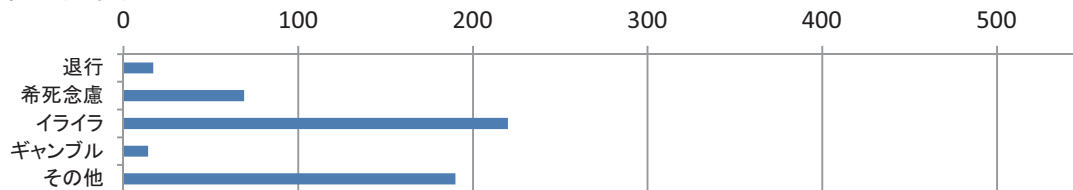
(その他の精神症状)



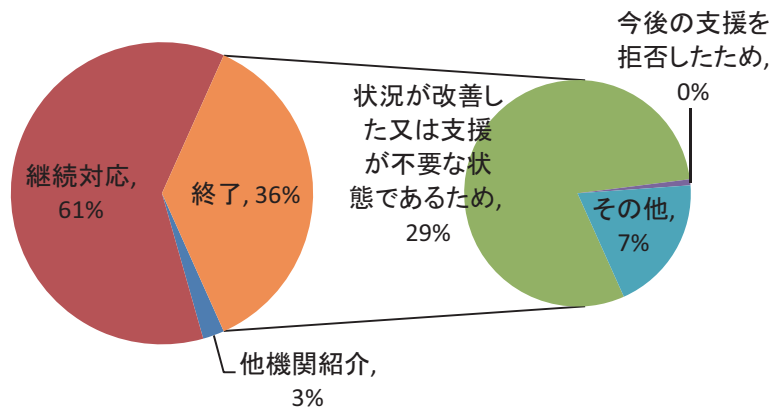
(病的飲酒)



(その他の症状)



⑦ 対応の状況



	1 福地成, 「遊びの中で回復する子どものころ」, 月刊「チャイルドヘルス」vol.15 No.3.53-55(2012).
	2 福地成, 「震災が子どものころに与えたもの」, 東京小児科医学会報, 第30巻, 1-4(2012).
	3 福地成, 「大震災と子どものころ」, 日本小児科医学会報, No.43.43-47(2012).
	4 福地成, 「震災と子どものそだち」, そだちの科学, No.18.74-78(2012).
	5 福地成, 「震災が養育環境に与えたもの」, 日本子ども虐待防止学会雑誌「子どもの虐待とネグレクト」vol.14, No.1.14-19(2012).
	6 福地成, 村井麻子, 「子どもを対象とした被災地支援の実践」, 日本病院・地域精神医学雑誌「病院・地域精神医学」Vol.55 No.1.56-58(2012).
	7 松本和紀, 「東日本大震災における精神保健医療・宮城での経験から」, 治療の聲13(1):77-84, 2012.
	8 松本和紀, 佐久間篤, 上田一氣, 「大規模災害後のうつ病」, 内科110(6):1085-1089, 2012.
	9 松本和紀, 「被災者のメンタルヘルスケア」, 日本医師会雑誌141(1):56-60, 2012.
	10 高橋葉子, 「東日本大震災の支援者支援」, 被災者であり被災者である人々を支えるということ, 精神医療67:114-120, 2012.
	11 高橋葉子, 「震災から半年後に宮城県気仙沼市で行った研修「災害後の看護師の心のケア」の概要」, 日本精神保健看護学会誌21:23-27, 2012.
	12 高橋葉子, 「東日本大震災における中長期支援の課題—被災地看護師支援に焦点をあてて—」, 日本精神保健看護学会誌21:100-101, 2012.
	13 高橋葉子, 松本和紀, 「東日本大震災におけるトラウマ」, こころの科学165:50-55, 2012.
	14 佐藤博俊, 松岡洋夫, 「東日本大震災における東北大学精神科としての支援」, 精神科診断学5:69-76, 2012.
論文	

	15 福地成, 「災害後の心の余震」, AERA with Baby 2012年4月号, 102-107
	16 福地成, 「震災が与える子ども達の精神的余震」, 赤ちゃんと成長ネットワーク会報, 2012年6月14号, 29-31
	17 福地成, 「子どものころ～震災後の子どもの心の反応～」, 仙台市医師会宮城野ブロック「兆候を考える」, 2012年3月号, 5-10
	18 福地成, 「災害後の子どものメンタルヘルス再考」, 心とこころ No.50
	19 渡部裕一, 「みやぎ心のケアセンターと災害時の支援の在り方を考える」, 心とこころ No.50
	20 福地成, 「臨床心理士と共に支援に携わって」, 一般社団法人日本臨床心理士会雑誌, vol.73 第21巻2号, 55-56(2012)
	21 福地成, 「災害後の子どものころを支える」, 第04回宮城県保健会雑誌, 2012年10月, 19-21
	22 片柳光昭, 「3.11震災リポート リカバリーへの歩み」, 月刊「メンタルヘルスマガジン」, ころの元気+, 平成24年2月号
	23 渡部裕一, 「日本精神科診療所協会誌「ジャーナル」第198号 「みやぎ心のケアセンターの取り組み」寄稿
	24 渡部裕一, 「3.11震災リポート リカバリーへの歩み」, 月刊「メンタルヘルスマガジン」, ころの元気+, 平成24年3月号
	25 渡部裕一, 岡山県心のケアチーム活動記録(仮称)への寄稿
	26 福地成, 「震災後の子どものころの支援」, 愛宕ねっと http://www.aikunet.jp/practice/personal.example/17660.html
	27 相内千鶴, 「大震災とお酒の悩み」～飲酒量, 増えていませんか～, 広報いわぬま, 2012年10月号, No.835.
	28 福地成, 仙台市学校保健会
	29 久保田美代子, 「被災地でのアウトリーチサービス」, 作業療法ジャーナル vol.46, No.11, 1402(2012.10)
	30 樋口徹郎, 「東松島市における被災者支援の現状」, 全国精神障害者地域生活支援協議会 機関誌あみNo.63, p.21
	31 荒井祐子, 「宮城県東松島市」, 医療法人卯の会 広報誌「卯の会」vol.41, p.3
	32 内田朋子, 「精神科看護と社会貢献～被災地の精神科看護の現場から～」, 日本精神科看護技術協会 会報誌「Nursing Star」No.642, p.13
	33 白澤英勝, 「心と体のケアノート」被災者の心周りが理解を 読売新聞 2012年5月11日
	34 内田知宏, 「ころとからだのケアノート」うつ病対策「予防意識」重要, 読売新聞, 2012年6月8日.
	35 内田知宏, 「ころとからだのケアノート」最適な睡眠時間を 読売新聞, 2012年9月7日.
	36 内田知宏, 「ころとからだのケアノート」こころの健康問題に 読売新聞, 2012年11月16日.
	37 白澤英勝, 「心と体のケアノート」震災で酒依存早めの相談を 読売新聞 2013年1月11日
	38 内田知宏, 「ころとからだのケアノート」支援者を支援する, 読売新聞, 2013年2月22日.
寄稿	

	37 福地成, 日本医師会の出版本の分担
	38 福地成, 発達障害医学の進歩の分担
分担執筆	
その他	39 大塚耕太郎, 松本和紀, 丹羽真一, 「司会」岡崎祐士, 「企画担当」大久保晋朗, 「座談会」災害と精神医学, 臨床精神医学41(9):1095-1110, 2012.

5. 各種活動支援 (2)各種研修・イベント等の共催・名義後援等の協力

	実施日	研修名	内容	市町村	対象	人数
1	4月1日	【後援】災害支援者ストレスほっとライン	東日本大震災における支援者のための相談窓口	兵庫県	支援者全般	—
2	4月21,22日	【共催】ファシリテーター養成講座	震災で大切な人を亡くした人をサポートする～悲嘆と向き合うこと支えること～	仙台市	一般市民	100名
3	6月5日	【後援】震災とこころのケア講演会in塩釜	一般臨床に求められるこころのケアの知識	塩釜市	精神医療関係者	—
4	6月15日	【後援】震災とこころのケア講演会in石巻	宮城県沿岸部の被災時の状況と今後の対応について～うつ病への対応を中心に～	石巻市	精神医療関係者	50名
5	7月21,22日	【共催】ファシリテーター養成講座	震災で大切な人を亡くした人をサポートする～悲嘆と向き合うこと支えること～	仙台市	一般市民	100名
6	7月25日	【共催】傾聴ボランティア養成講座	セルフケア、震災後の心の変化、他(4回シリーズ)	石巻市	傾聴ボランティア	200名
7	9月7日	【共催】第55回 日本弁護士会人権大会プレシンポジウム	シンポジウム 地域における自殺予防対策	仙台市	自死予防対策関係者	110名
8	9月25日	【後援】悲嘆講座(仙台グリーフケア研究会・JDGSプロジェクト主催)	悲嘆のケアに関する5回シリーズの研修会	仙台市	被災者・遺族支援関係者 学生ほか	—
9	12月3日	【後援】Pauline Boss博士ワークショップ	あいまいな喪失理論と実践方法についての講義、事例検討とスーパービジョン	仙台市	精神医療・震災支援関係者など	146名
10	1月22日	【共催】平成24年度災害後の地域精神保健福祉活動研修会	災害後の中長期の地域精神保健福祉活動についての検討とこれまでの活動を整理するための研修会	大崎市	市町村・保健所等行政機関保健師等担当者	50名
11	1月23日	【共催】震災とこころのケア講演会in仙台	震災後の心のケア～中長期的な支援に向けて～	仙台市	精神医療関係者	—
12	1月27日,3月2日	【後援】医療現場で自殺未遂者に対応するためのワークショップ	救急医療現場で自殺未遂者に適切に対応し、自殺防止を議論するワークショップ	仙台市	精神医療関係者	32名
13	3月30日	【後援】こどものこころサミットinせんだい	中学生を対象に「こころの健康」について考え、語るワールドカフェ形式のディスカッション	仙台市	仙台市内中学生	50名